INTEC
COMPONENT WORLD

ONKYO

DVDプレーヤー

DV-S155
取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

目次

使ってみよう

こんなこともできます

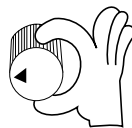
いろいろな機能

特長

- ■ DVDビデオ、MP3 CD、音楽CD/CD-R/CD-RW、ビデオCD 対応
- ■ DVDビデオのハイクオリティサウンドを引き出す192kHz/24ビット D/Aコンバーター搭載
- ■ ドルビー*デジタル/DTS(ディーティーエス)**/PCM デジタル音声出力端子（光：3）装備
- ■ 高画質映像を再現するD1/D2映像出力端子装備
- ■ 高精細映像を実現する27MHz/10ビット ビデオD/Aコンバーター搭載
- ■ 対話形式で簡単に初期設定できるセットアップナビゲーター
- ■ 96kHz/48kHz PCMデジタル出力切り換え可能
- ■ 最大24ステップまで記憶するプログラム再生、最大24枚までのDVDビデオのプログラムを記憶するプログラムメモリー機能
- ■ 停止後に続きから再生できるリジューム機能、前に見たディスクの続きを再生するラストメモリー機能
- ■ SRS TruSurround(サラウンド)方式***により、5.1チャンネルのデジタル音声データをダイレクトに処理するバーチャルサラウンド機能

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、Dolby、Pro Logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
** 本機はデジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。“DTS”、“DTS Digital Surround”は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
*** TruSurroundとSRS（●）記号は、SRS Labs. Incの商標です。
TruSurround技術はSRS Labs. Incからのライセンスに基づき製造されています。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
  内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

DV-S155(02-08)(SN 29343311A) 5 02.6.13, 11:21 AM

⚠警告

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔、ディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- お子様がディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクが機械内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

ディスクについての予備知識

■ 再生できるディスク

本機では再生だけの機能となります。

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、DVDビデオまたはビデオCDのディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

*1 **CD-R／CD-RWディスクの再生について**

本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R／CD-RWディスクを再生することができます。

ただし、使用するディスクがファイナライズされていないとき、また録音したレコーダーの記録特性やディスクの特性、傷、汚れ、本機のピックアップレンズの汚れ/結露等により、再生できない場合があります。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVDオーディオ・DVD-RW・DVD-ROM・DVD-RAM
- SACD
- フォトCD・CD-Gなど

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
②))	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16：9 LB	記録されている映像のアスペクト比（☞74ページ）
2　ALL	地域番号を表わします。本機は地域番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。

これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、再生できない旨の表示（「Wrong Region No」）が画面にでます。

ディスクについての予備知識

■ DVDの操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスクによる禁止」マーク( )を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止」マーク( )を表示します。

■ ビデオCDについて

本機はPBC(ピービーシー)付きビデオCD（バージョン 2.0）に対応しています。（PBC(ピービーシー)は、Playback Control(プレーバック コントロール)の略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

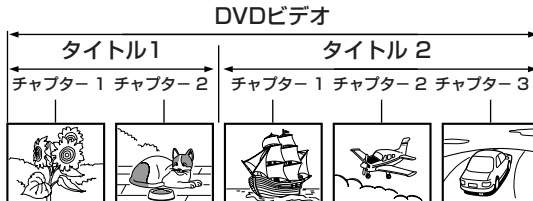
ディスクの種類	楽しみかた
PBC(ピービーシー)なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC(ピービーシー)付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC(ピービーシー)なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

■ MP3の再生について

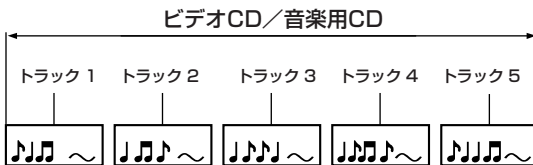
- MP3は、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。
  「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。
- ISO9660CD－ROMファイルシステムに従って記録してください。音質的には記録ビットレート128kbpsを推奨します。
- サンプリング周波数44.1kHz、または48kHzの固定ビツトレートで記録されたファイルに対応しています。
- 可変ビットレート（VBR：Variable(バリアブル) Bit(ビット) Rate(レート)）には対応していません。
- マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生できます。
- 上記の項目に対応していないファイルは「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」と表示され、再生することができません。MP3とその他のファイルが同一CD-ROMに記録されている場合、再生すると「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」と表示されることがありますが、MP3については問題なく再生できます。
- フォルダー/トラツクの名前は半角英数字で入力された文字のみ最大8文字まで表示します。
  それ以外で入力されているフォルダー/トラックの名前は「F_001」「T_001」のようにMP3ナビゲーターまたはプログラムの画面に表示されます。また、本体表示部にも半角大文字英数字以外を表示できないことがあります。
- フォルダー/総トラック数はそれぞれ250まで対応しています。251以降のフォルダー/トラックを再生することはできません。

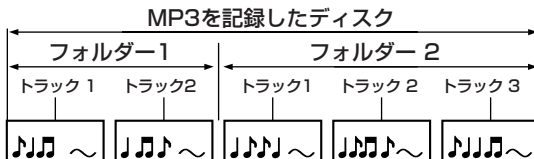
ディスクについての予備知識

■ ディスクに関する用語について

● DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

タイトル　DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター　タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

● ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

● MP3を記録したディスクは、「フォルダー」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。

フォルダー　ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

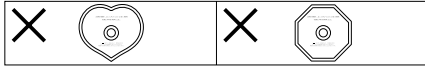
トラック　フォルダーの内容を、曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

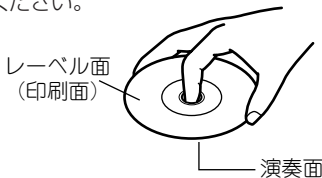
それぞれのタイトルやチャプター、トラック、フォルダーには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」、「フォルダー番号」といいます。
（ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。）

ディスクについての予備知識

■ ディスクについてのご注意

異形ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

取り扱いについて

演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■ コピー防止について

本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号がはいっているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

■ 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

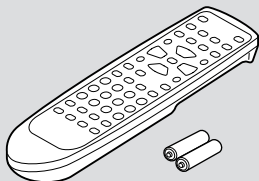
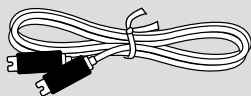
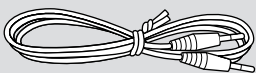
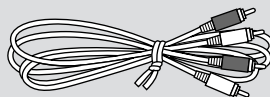
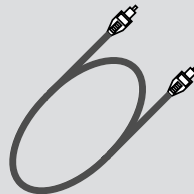
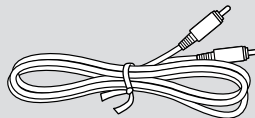
結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

箱を開けたら、まず

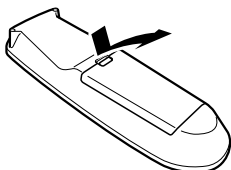
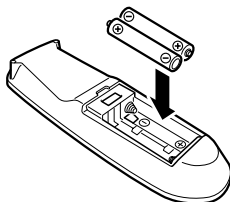
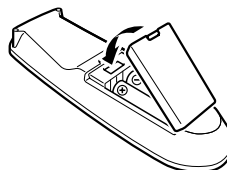
■ 付属品を確認する

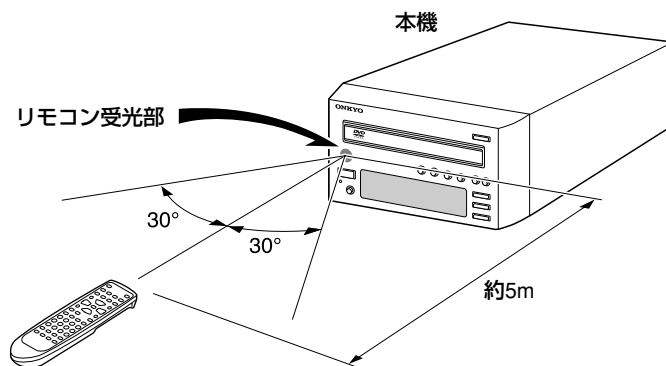
本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。
［　］内の数字は数量を表わしています。

●リモコン(RC-450DV) [1]
●単3乾電池 [2]

●Sビデオコード [1]
Sビデオ映像を送るコードです。

●RIケーブル [1]
RI端子付きオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。
（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。）

●オーディオ用ピンコード [1]
アナログ音声を送るコードです。

●オーディオ用光デジタルケーブル [1]
デジタル音声を送るケーブルです。

●ビデオ用ピンコード [1]
映像を送るコードです。

●取扱説明書 （本書）[1]
●保証書 [1]

箱を開けたら、まず

■ リモコンを準備する

乾電池を入れる

①　②　③

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池(単3形)と交換してください。
- 電池の極性(⊕、⊖)は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは､電池の液もれを防ぐため､電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

■ DVDプレーヤー（DV-S155）前面パネルの名前と働き

STANDBY/ON(スタンバイ/オン)
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

表示部
下記参照

ディスクトレイ
ディスクを入れるところです。

⏏(オープン/クローズ)
ディスクトレイを開閉するときに押します。

⏮/⏭
場所や曲の頭出しをします。

REPEAT（リピート）
ディスクによってタイトルやチャプター、トラック、フォルダー、またはディスク全体などをくり返し再生します。

RANDOM（ランダム）
タイトルやチャプター、トラックを順不同に再生します。

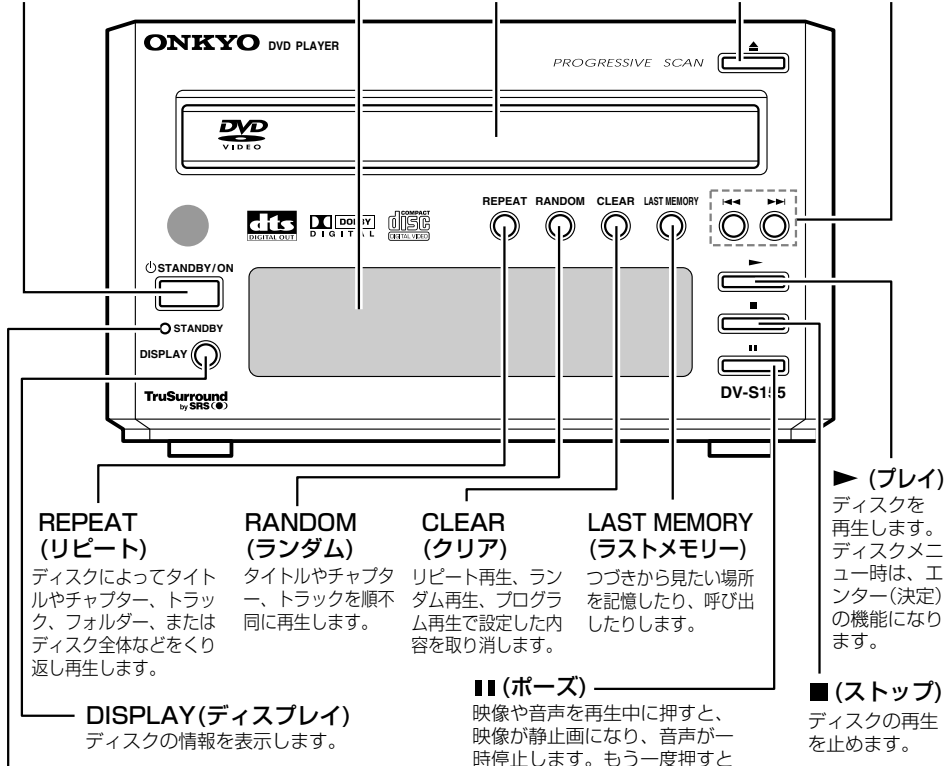
CLEAR（クリア）
リピート再生、ランダム再生、プログラム再生で設定した内容を取り消します。

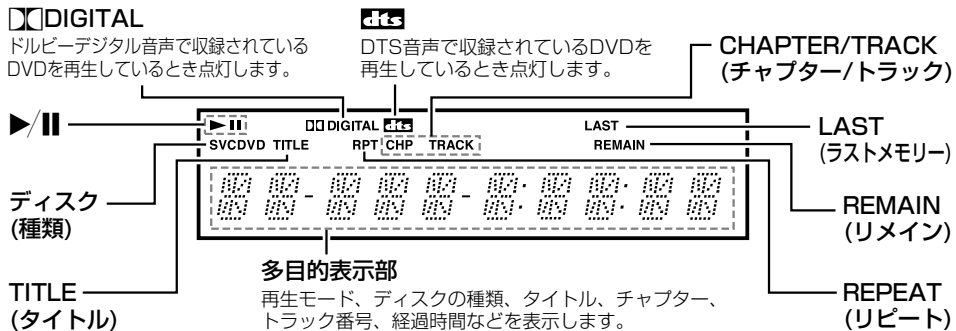
LAST MEMORY（ラストメモリー）
つづきから見たい場所を記憶したり、呼び出したりします。

►（プレイ）
ディスクを再生します。ディスクメニュー時は、エンター（決定）の機能になります。

❚❚（ポーズ）
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

■（ストップ）
ディスクの再生を止めます。

DISPLAY（ディスプレイ）
ディスクの情報を表示します。

STANDBY（スタンバイ）インジケーター
電源を入れると消灯します。

■ 表示部

箱を開けたら、まず

■ DVDプレーヤー（DV-S155）後面パネルの名前と働き

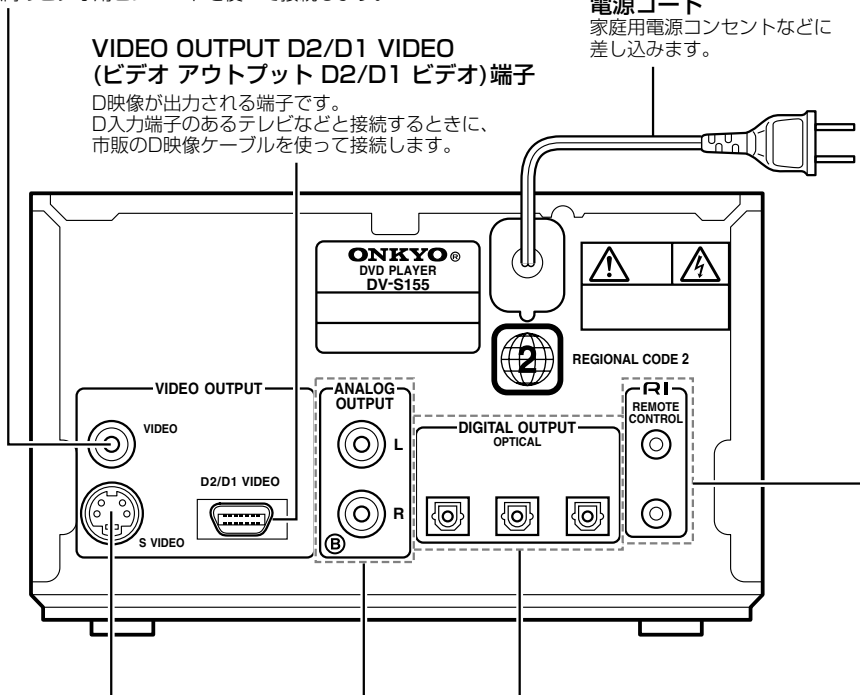
VIDEO OUTPUT VIDEO (ビデオ アウトプット ビデオ)端子

映像が出力される端子です。
テレビまたはAVアンプなどと接続するときに、
付属のビデオ用ピンコードを使って接続します。

電源コード

家庭用電源コンセントなどに
差し込みます。

VIDEO OUTPUT D2/D1 VIDEO (ビデオ アウトプット D2/D1 ビデオ)端子

D映像が出力される端子です。
D入力端子のあるテレビなどと接続するときに、
市販のD映像ケーブルを使って接続します。

VIDEO OUTPUT S VIDEO (ビデオ アウトプット Sビデオ)端子

Sビデオ映像が出力される端子です。
Sビデオ端子のあるテレビまたは
AVアンプなどと接続するときに、付属の
Sビデオコードを使って接続します。

DIGITAL OUTPUT OPTICAL (デジタル アウトプット オプティカル)端子

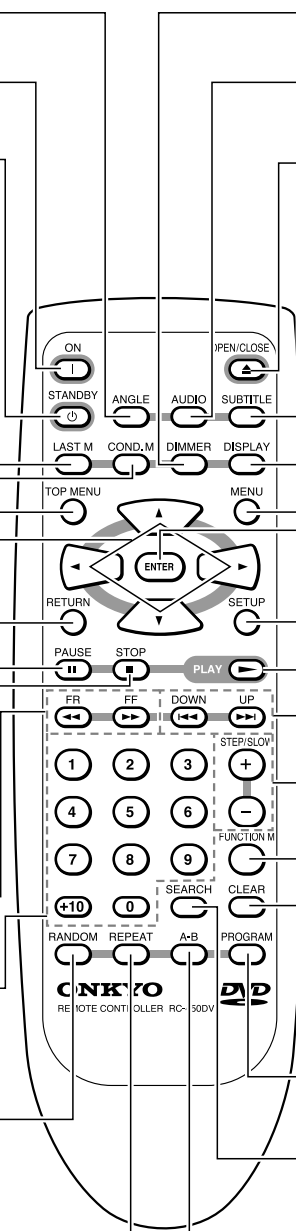
デジタル音声が出力される端子です。
デジタル入力端子のあるアンプなどと接続する
ときに、光デジタルケーブルを使って接続します。

ANALOG OUTPUT L/R (アナログ アウトプット L/R)端子

アナログ音声が出力される端子です。
ステレオアンプまたはテレビなどと接続するときに、
付属のオーディオ用ピンコードを使って接続します。
●モノラルの場合はL端子に接続してください。

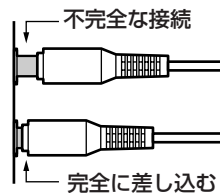
RI端子

RI端子付きオンキヨー製AVアンプなどと接続し、
AVアンプなどと連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働き
ません。オーディオ用ピンコードも正しく接続
してください。

■ リモコン（RC-450DV）ボタンの名前と働き

接続する

■ テレビと接続する

映像接続と音声接続が必要です。

- 映像接続にはD端子接続、Sビデオ端子接続、ビデオ接続の3種類あります。テレビに応じて接続してください。
- 音声接続はテレビの入力端子と本機のANALOG OUTPUTを接続します。
- 接続するテレビの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、テレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- 本機はテレビと直接接続してください。ビデオデッキなどを経由してテレビと接続した場合、再生すると画像が歪むことがあります。
- プラグは奥までしっかり接続してください。

D2/D1接続をすると、Sビデオ端子接続よりさらによい映像を得ることができます。

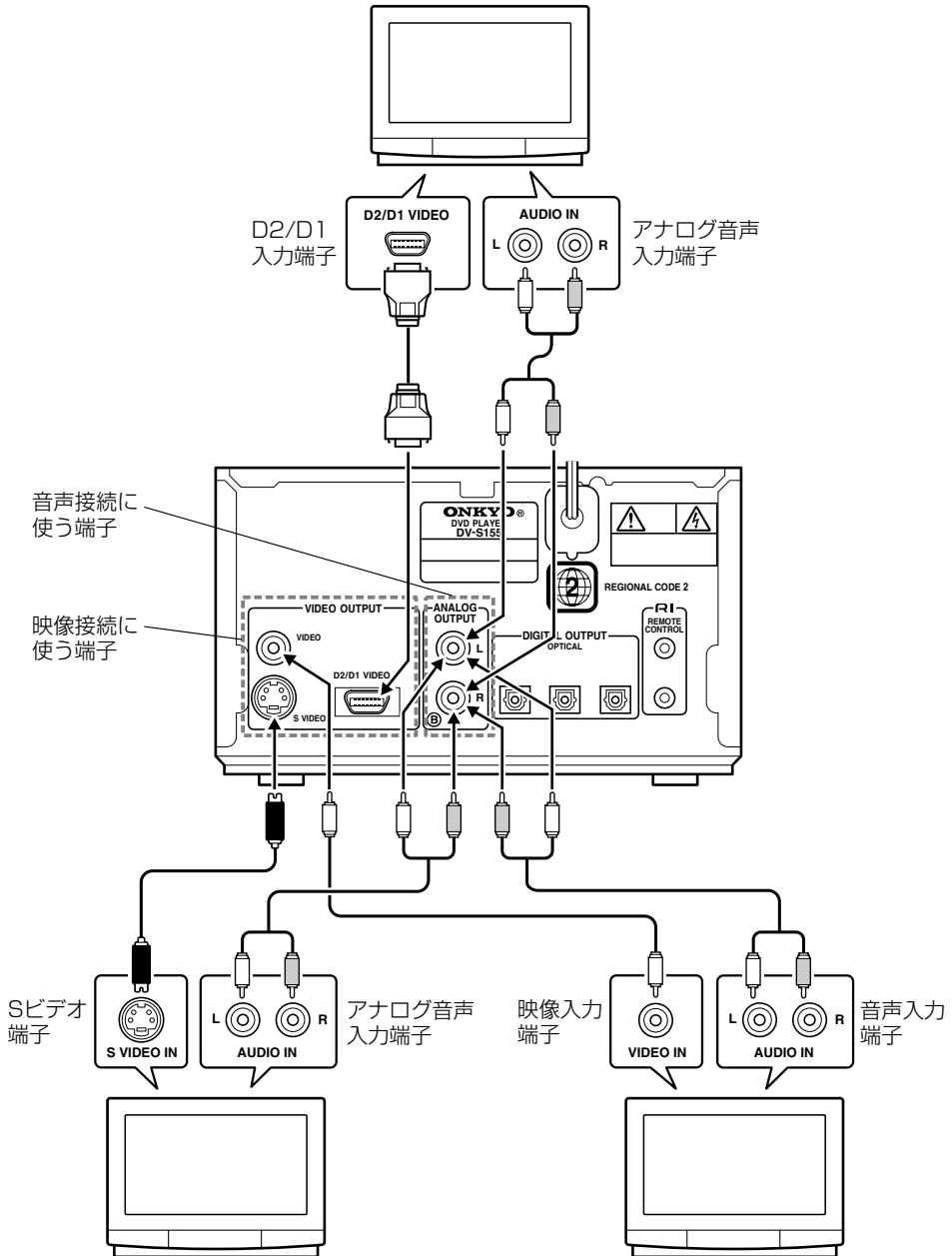
本機のD2/D1 VIDEO端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

テレビにSビデオ端子があるとき

テレビにSビデオ端子があるときは、付属のSビデオコードでSビデオ端子接続をしてください。通常のビデオ接続よりもよい映像が得られます。

テレビにD入力端子もSビデオ端子もないとき

付属の黄色のピンコードでビデオ接続します。

- テレビの音声がモノラルの時は、ANALOG OUTPUTのL端子に接続してください。

テレビにD入力端子があるとき
D2/D1 VIDEO
AUDIO IN
L
R
D2/D1
入力端子
アナログ音声
入力端子
ONKYO
DVD PLAYER
DV-S155
REGIONAL CODE 2
音声接続に
使う端子
映像接続に
使う端子
VIDEO OUTPUT
VIDEO
S VIDEO
D2/D1 VIDEO
ANALOG
OUTPUT
DIGITAL OUTPUT
OPTICAL
REMOTE
CONTROL
Sビデオ
端子
S VIDEO IN
AUDIO IN
アナログ音声
入力端子
映像入力
端子
VIDEO IN
AUDIO IN
音声入力
端子
テレビにSビデオ端子があるとき
テレビにD入力端子もSビデオ端子もないとき

接続する

■ アンプを接続する...音声効果を楽しむために

本機の音声は、前ページの接続をすることで、テレビのスピーカーから出力できますが、本機をアンプに接続することで、より高音質でダイナミックな音声を楽しむことができます。

ドルビーデジタルサラウンド、MPEG1オーディオ、MPEG2オーディオ、DTSサラウンド音声を再生するときは、それぞれに対応しているアンプと接続する必要があります。

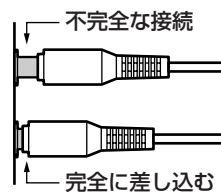
音声接続が必要です。アンプに映像入出力端子がない場合、映像端子はテレビと接続します。

音声接続はデジタル接続またはアナログ接続の2種類あります。アンプに応じて接続してください。

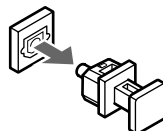
- アンプの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、接続するすべての機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- ビデオ切り換え付きのアンプをご使用の場合は、映像信号はアンプを通してテレビに出力するようにしてください。
- プラグは奥までしっかり接続してください。

不完全な接続

完全に差し込む

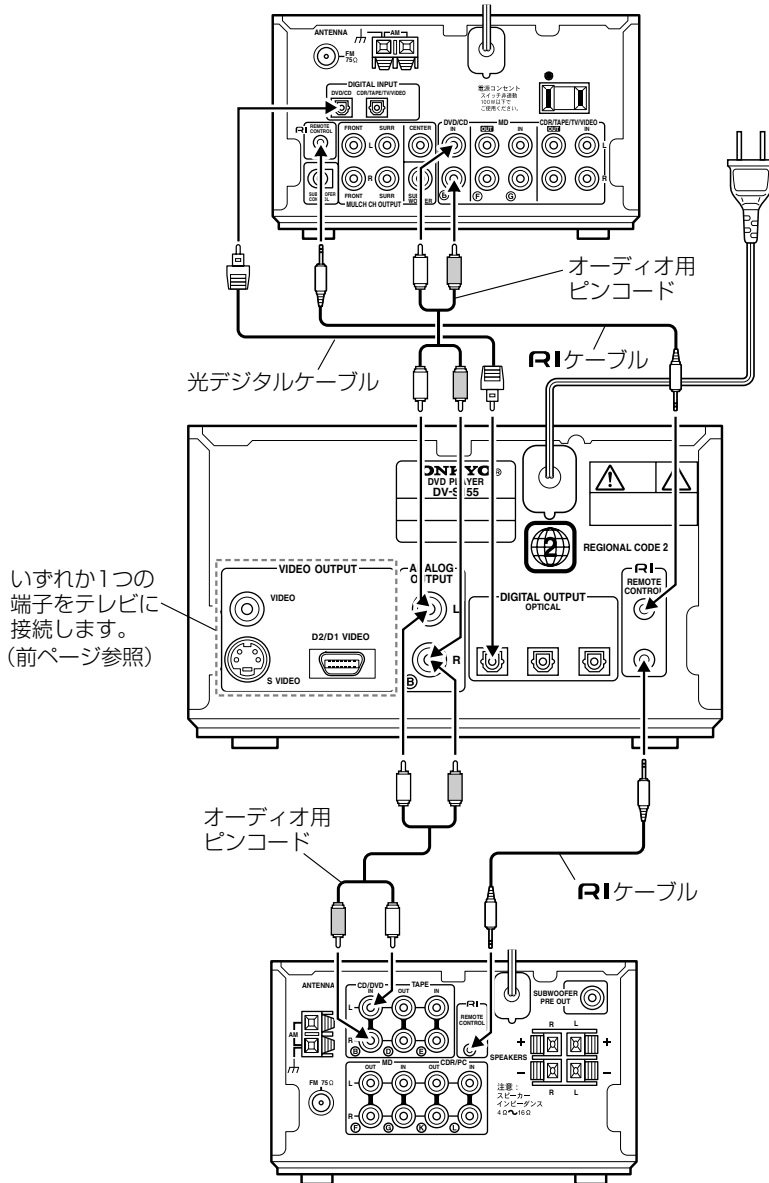
- RIケーブルを使ってオンキヨー製のアンプと接続すると、アンプのリモコンを使って本機を操作することができます。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにもつなげます。
- RIケーブルで接続した場合も、オーディオ用ピンコードは必ず接続してください。

デジタル端子のあるアンプと接続する

アンプのデジタル入力端子と本機のDIGITAL OUTPUT OPTICAL端子を接続してください。

- 光出力端子には、保護キャップが取り付けられています。接続のときは、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを元どおりに取り付けてください。

デジタル端子のないアンプと接続する

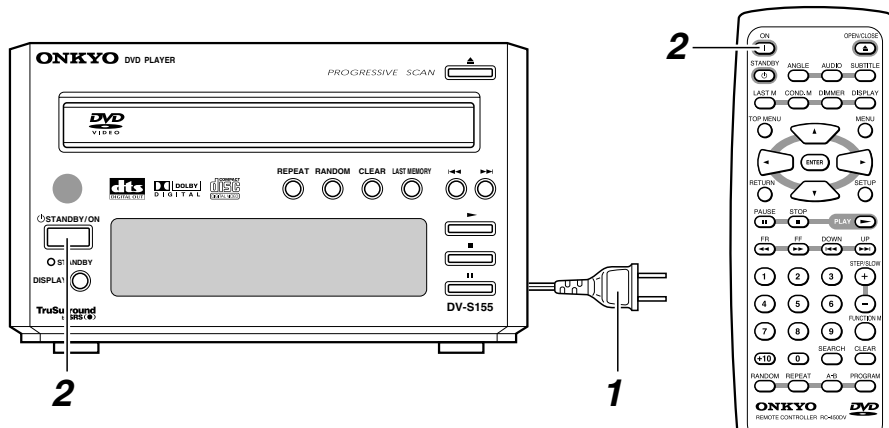
アナログ接続をしてください。アンプがドルビープロロジックに対応していれば、ドルビープロロジックサラウンド音声を再生することができます。

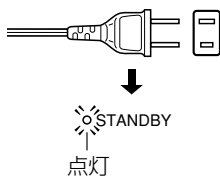
ご注意

本機は熱に弱い部品を使用していますので、アンプなどの上には置かないでください。

デジタル端子のあるアンプと接続する
オーディオ用
ピンコード
RIケーブル
光デジタルケーブル
いずれか1つの
端子をテレビに
接続します。
（前ページ参照）
オーディオ用
ピンコード
RIケーブル
デジタル端子のないアンプと接続する

電源を入れる

接続する前に

- 18～21ページの接続がすべて終了しているか確認してください。(テレビとの接続は必要です。)

リモコンのボタンは　　で表示しています。

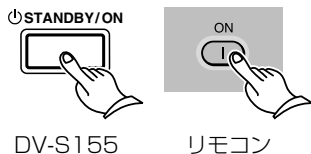
1

電源コードを家庭用電源コンセントにつなぐ

STANDBY(スタンバイ)インジケーターが点灯します。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線が入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。
家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。
オンキヨー製品の背面にある電源コンセントに接続する場合、電源コードの目印線を電源コンセントの広い方(Ⓦマーク側)に合わせてください。

2

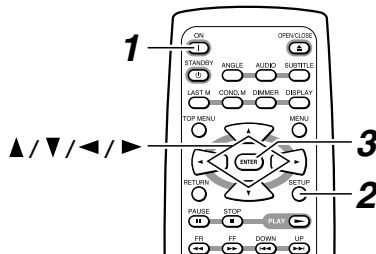
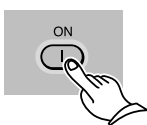
DV-S155　　リモコン

本体のSTANDBY/ON(スタンバイ/オン)または、リモコンのON(オン)ボタンを押して、電源を入れる

表示部が点灯し、STANDBYインジケーターは消灯します。

セットアップナビゲーターを使う

■ セットアップナビゲーターを使って設定する（この機能を再生中に使うことはできません。）

セットアップナビゲーターは基本的な設定を行います。
より細やかな設定は初期設定画面で行います。
対話形式で本機の設定を行います。表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。
言語（画面表示言語）→テレビとの接続（テレビの種類）→アンプとの接続

1

ONボタンを押して、電源が入った状態にする

ディスクが入っているときはディスクを取り出してください。

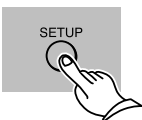
2

音声1	音声2	映像1	映像2	言語	一般

セットアップナビゲーター

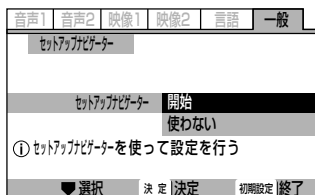
セットアップナビゲーター　**開始**
使わない

ⓘ セットアップナビゲーターを使って設定を行う

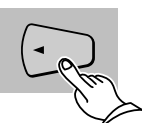
▼選択　決定 決定　初期設定 終了

SETUPボタンを押して、セットアップナビゲーター画面を表示する

開始：
セットアップナビゲーターを開始するとき選択します。

使わない：
セットアップナビゲーターの設定がすでに完了しているとき選択します。「使わない」を選ぶと、停止時も「初期設定」画面（☞50ページ）が表示され、より細やかな設定を行います。

3

ENTERボタンを押して、セットアップナビゲーターを開始する

設定の途中で前の設定画面に戻るには

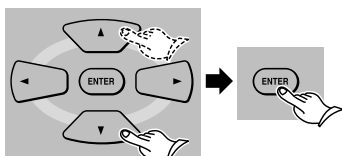
◀ボタンを押す

セットアップナビゲーターを使う

セットアップナビゲーター画面などの画面表示について

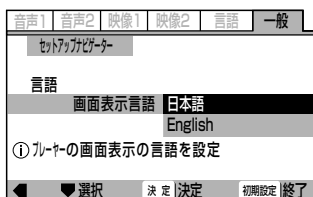
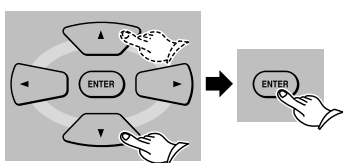
画面下部に操作に対応するリモコンのボタンが表示されます。これらはリモコンの以下のボタンに対応しています。

画面表示	◀▶▲▼	決定	初期設定	プログラム	画面表示	リターン
リモコンのボタン	◀/▶/▲/▼	ENTER	SETUP	PROGRAM	DISPLAY	RETURN

ⓘマークは情報(information)を意味しています。画面に選択している項目の簡単な説明が表示されますので、参考にしてください。

画面に表示する言語を選ぶ

▲/▼ボタンで選び、ENTERボタンを押す

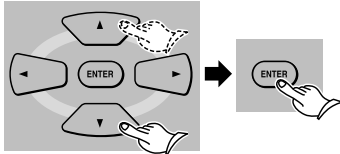
日本語：画面に表示される言語が日本語になります。

English：画面に表示される言語が英語になります。

接続しているテレビの種類を選ぶ

▲/▼ボタンで選び、ENTERボタンを押す

ワイド（16:9）：
ワイド(16:9)のテレビと接続したとき選択します。

標準（4:3）：
従来サイズ(4:3)のテレビと接続したとき選択します。

接続したアンプが対応しているデジタル信号を選ぶ

本機と接続したアンプがどのデジタル信号に対応しているかを設定します(お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください)。テレビのみに接続している場合は「未接続」を選択してください。

▲/▼ボタンで選び、ENTERボタンを押す

INTEC155シリーズのPR-155と接続する場合は、「DOLBY DIGITAL/DTS」を選択してください。

Dolby Digital：本機と接続しているAVアンプなどがドルビーデジタル対応のとき選択します。

Dolby Digital/DTS：本機と接続しているAVアンプなどがドルビーデジタルおよびDTS対応のとき選択します。

Dolby Digital/MPEG：本機と接続しているAVアンプなどがドルビーデジタルとMPEG対応のとき選択します。

Dolby D/DTS/MPEG：本機と接続しているAVアンプなどがドルビーデジタル、DTS、およびMPEG対応のとき選択します。

PCM：本機と接続しているアンプがステレオアンプ、またはドルビープロロジック対応アンプのとき選択します。

未接続：アナログ音声ケーブルのみでアンプと接続しているとき、アンプがどのデジタル信号に対応しているかわからないとき選択します。この項目を選択すると次の『96kHz PCM対応』の設定は必要がないため、次のページの「セットアップナビゲーターを終了する」へ移ります。

ご注意

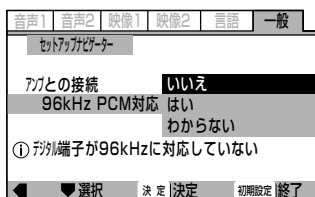
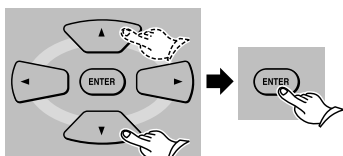
- DTS音声に対応していないアンプと接続しているとき『Dolby Digital/DTS』、または『Dolby D/DTS/MPEG』を選択しないでください。DTS音声で記録されたディスクを再生すると大音量が出て、聴覚やスピーカーを損傷する恐れがあります。
- 2チャンネルのデジタルステレオアンプと接続しているときは『PCM』を選択してください。『PCM』以外を選択すると、大音量が出て聴覚やスピーカーを損傷する恐れがあります。

セットアップナビゲーターを使う

接続したアンプが96kHz音声に対応しているかを選ぶ

本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているか、対応していないかを設定します。

▲/▼ボタンで選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

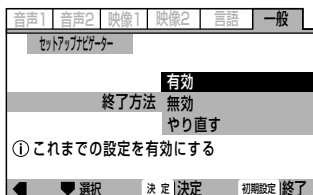
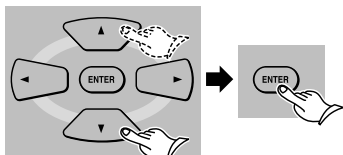
ヒント

- 『いいえ』、『わからない』を選択したときは、DVDの音声がリニアPCMの96kHzであっても48kHzに変換した信号を出力します。
- INTEC155シリーズのPR-155と接続する場合は、「はい」を選択してください。

いいえ： 本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応していないとき選択します。
はい： 本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているとき選択します。
わからない： 本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているかどうかわからないとき選択します。

セットアップナビゲーターを終了する

今まで設定した項目を有効にして終了するか、無効にして終了するか、またはやり直すかを選択します。

▲/▼ボタンで選び、ENTERボタンを押す

ヒント

セットアップナビゲーターの設定をお買い上げ時に戻すには、電源を待機状態(スタンバイ状態)にして、本体の■を押しながら本体のSTANDBY（スタンバイ）/ON（オン）を押してください(☞72ページ)。

有効： これまでの設定内容を有効にして終了します。
無効： これまでの設定内容を無効にして終了します。
やり直す： セットアップナビゲーターを使って行った設定を『画面表示言語』の設定からやり直します。

基本の再生

■ 再生を始める前に

- DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CD以外は再生しないでください。(☞「再生できるディスク」9ページ)
- ディスクを再生するときは、テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機器を接続した入力に切り換えてください。
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節してベストな状態にしてください。

■ DVD VCD CD MP3 マークについて

DVD はDVDビデオの操作に関する説明です。

VCD はビデオCDの操作に関する説明です。

CD は音楽用CDに関する説明です。

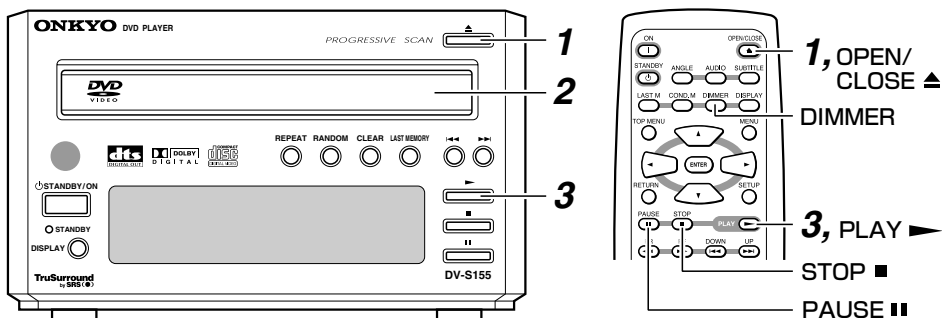
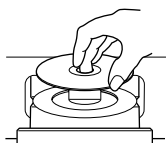
MP3 はMP3を記録したディスクに関する説明です。

ご注意

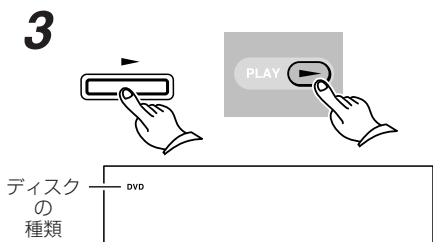
- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、STOP(ストップ)■ボタンを押してください。
- DVDのなかにはディスクをセットするだけで再生するものもあります。このようなディスクの場合、電源を入れるだけでも再生しますので、本機をSTANDBY(スタンバイ)状態にする時は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

基本の再生

■ ディスクの基本的な再生 DVD VCD CD MP3

1

本体の▲またはリモコンのOPEN/CLOSE▲ボタンを押して、ディスクトレイを開ける

ディスクをトレイに置く

ディスクのラベル面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。トレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

本体またはリモコンのPLAY▶ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。
ディスクによっては、手順**2**の後で▲ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が始まります。

- セットしたディスクの種類が表示されます。

テレビにメニュー画面があらわれたときは DVD VCD

「ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する」（☞32ページ）を参照してください。

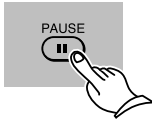
音声が再生されないときは DVD VCD CD MP3

- 接続と初期設定を再度確認してください。（☞18〜21、23ページ）
- 「ディスクに複数の音声方式が記録されているときは」（☞33ページ）を参照してください。

ご注意 ディスクトレイに手を入れないでください。指をはさみ、けがの原因となることがあります。

よりよい映像を得るためには DVD

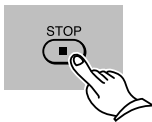
DVDビデオを再生すると、通常はあらわれないノイズが時折画面にでることがあります。これはDVDビデオが高解像度で情報量が多いためです。ノイズ量はテレビにもよりますが、ノイズがでるときは、テレビのシャープネスをマイナス方向に調整してください。

再生を一時停止する DVD VCD CD MP3

再生中にPAUSE(ポーズ)❚❚ボタンを押す

再生を再開するには、再度PAUSE❚❚ボタン(またはPLAY(プレイ)▶ボタン)を押してください。

スクリーンセーバー画面があらわれたときは

ディスク再生中、一定時間以上一時停止(ポーズ)状態にしておくと、スクリーンセーバーがはたらきます。(この機能をオフにするとこともできます。☞57ページ)
PAUSE❚❚(またはPLAY▶)ボタンを押すと再生画面が表示され、再度PAUSE❚❚ボタン(またはPLAY▶ボタン)を押すと再生が始まります。CDなどでテレビをつけていなくても同様です。

再生を停止する DVD VCD CD MP3

STOP(ストップ)■ボタンを押す

DVDおよびビデオCDでは、本体の表示部に「RESUME(リジューム)」と表示され、停止した場所を記憶します(リジューム機能)。CDおよびMP3では、この機能は働きません。

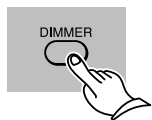
停止した場所から再生するには

PLAY▶ボタンを押してください。

リジューム機能を解除するには

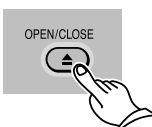
再生停止後、もう一度STOP■ボタンを押してください。またはディスクを取り出すとリジューム機能は解除されます。

再生を止めたところから再生が始まるのは、止めた場所が本機のメモリーに記録されているからですが、以下の場合は、メモリーが初期化されます。
- ディスクトレイを開いたとき
- 『視聴制限』の設定を変えたとき(☞66ページ)や、『画面表示言語』を変えたとき(☞62ページ)

表示窓の明るさを変える DVD VCD CD MP3

DIMMER(ディマー)ボタンを押す

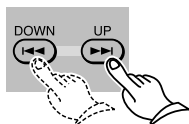
DIMMERボタンを押すたびに、本機の表示窓の明るさが3段階に切り換わります。

ふつう → やや暗い → 暗い

ディスクを取り出す DVD VCD CD MP3

OPEN(オープン)/CLOSE(クローズ)▲ボタンを押して、ディスクトレイを開く

トレイが完全に開いたら、デイスクを取り出します。
その後、再度OPEN/CLOSE▲ボタンを押してトレイを閉じてください。

基本の再生

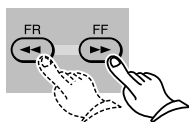
見たいチャプター/トラックにスキップする DVD VCD CD MP3

チャプター/トラックを頭出しします。押した回数だけスキップします。

見たいチャプター/トラックに進むには

再生中に▶▶▎ボタンを押します。

見たいチャプター/トラックに戻るには

再生中に▎◀◀ボタンを押します。

早送り、早戻しをする DVD VCD CD MP3

早送りするには

再生中にリモコンの▶▶ボタン(または本機の▶▶▎)を押し続けます。
早送り中は画面に「▶▶1」が点滅します。

早戻しするには

再生中にリモコンの◀◀ボタン(または本機の▎◀◀)を押し続けます。
早戻し中は画面に「◀◀1」が点滅します。

通常の再生に戻すには

見たい/聞きたい場所で指を離す

早送りの速さを変えるには

DVDでは3段階(1→2→3)、ビデオCD／CDでは2段階(1→2)に切り換えることができます。MP3では1段階のみとなります。

再生中にリモコンの▶▶ボタンを押す
押すたびに速さが次のように切り換わります。
(遅い)▶▶1→▶▶2→▶▶3(速い)

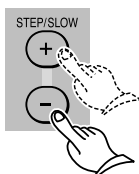
早戻しの速さを変えるには

DVDでは3段階(1→2→3)、ビデオCD／CDでは2段階(1→2)に切り換えることができます。

再生中にリモコンの◀◀ボタンを押す
押すたびに速さが次のように切り換わります。
(遅い)◀◀1→◀◀2→◀◀3(速い)

通常の再生に戻すには

PLAY(プレイ)▶ボタンを押します。

画面をコマ送りで見る DVD VCD

再生中または一時停止中にSTEP(ステップ)/SLOW(スロー)＋ボタンを押す

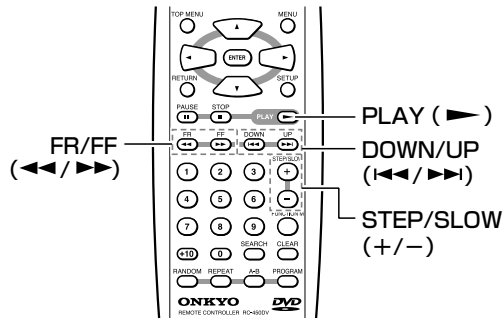
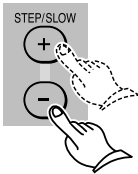
押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送り再生するには

一時停止中にSTEP/SLOW −ボタンを押します。
押すたびに逆方向にコマ送りします。
ビデオCDでは逆方向のコマ送り再生はできません。

通常の再生に戻すには

PLAY▶ボタンを押します。

画像をスローで見る DVD VCD

STEP/SLOW＋を押し続ける

『1/16』と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にSTEP/SLOW＋ボタンを押します。
押すたびに速さが以下のように切り換わります。
1/16→1/8→1/4→1/2→1/16

逆方向にスロー再生するには

STEP/SLOW－ボタンを押し続けます。
ビデオCDでは逆方向のスロー再生はできません。

逆方向のスロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にSTEP/SLOW－ボタンを押します。
押すたびにスロー1とスロー2が切り換わります。

通常の再生に戻すには

PLAY▶ボタンを押します。

- DVDでは、停止中にI◀◀ボタンまたは▶▶Iボタンを押すと、タイトルの始めから再生します。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の『ポーズモード』を『フィールド』に切り換えてください（☞61ページ）。
- ディスクによっては、逆方向のコマ送り再生中、画面が揺れることがあります。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は、マークまたはマークが画面に表示されます。

ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する

ディスクメニュー※について DVD

DVDビデオには、複数の言語や音声方式が含まれている場合があります。多くの場合、このようなDVDビデオは、メニューで言語(ディスクメニュー言語、音声、字幕など)や音声方式を選ぶことができます。ディスクメニューを表示するにはMENU(メニュー)ボタンを押してください。メニューが表示されないときはTOP(トップ) MENU(メニュー)ボタンを押してください。ディスクによってメニューが含まれていない場合もあります。

タイトルメニュー※について DVD VCD

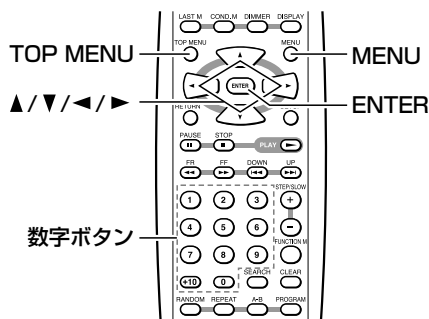
DVDビデオや、PBC(Playback Controlプレイバックコントロール)機能付きのビデオCD(☞10ページ「ビデオCDについて」)は、メニューでタイトルやチャプター(☞11ページ「ディスクに関する用語について」)を選べます。タイトルメニューを表示するにはTOP MENUボタンを押してください。メニューが表示されないときはMENUボタンを押してください。ディスクによってメニューが含まれていない場合もあります。

メニュー画面を出さずに(PBC再生を解除して)再生するときは、停止中に|◀◀/▶▶|ボタンまたは数字ボタンを使って再生したいトラックを選びます。

DVDビデオの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは、▲/▼/◀/▶ボタンで項目や設定を選び、ENTER(エンター)ボタンを押して決定してください。

ビデオCDの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは、数字ボタンで項目や設定を選んでください。

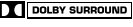
操作内容はディスクにより異なります。ディスクの指示に従ってください。

※ ディスクにより、ディスクメニューやタイトルメニューに違う名称がつけられている場合があります。また、メインのメニューにディスクメニューやタイトルメニューが含まれている場合があります。

ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する

■ ディスクに複数の音声方式が記録されているときは DVD

ディスクメニューで音声方式を選ぶときは、本機と他機の音声接続(☞20ページ)が判断基準になります。

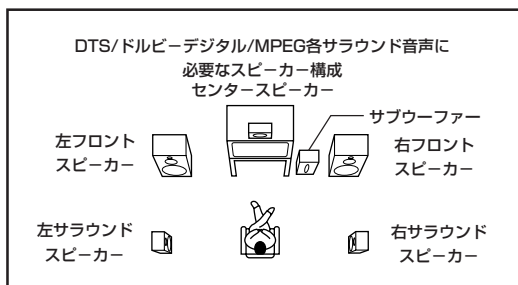
デジタル端子接続をしたときは

アンプがDTSに対応しているときは→「DTS」または「dts」を選ぶ
アンプがドルビーデジタルに対応しているときは→「ドルビーデジタル」または「Dolby Digital」、「DD6CH」、「DD5.1CH」、「DD DOLBY DIGITAL」を選ぶ
アンプがMPEGに対応しているときは→「MPEG」または「MPEG Multichannel」を選ぶ
アンプがドルビープロロジックに対応しているときは→「ドルビープロロジック」または「Dolby Pro Logic surround」、「DD DOLBY SURROUND」を選ぶ
アンプが2チャンネルステレオタイプのときは→「ステレオ」または「Stereo」を選ぶ

アナログ端子接続をしたときは

アンプがドルビープロロジックに対応しているときは→「ドルビープロロジック」または「Dolby Pro Logic surround」、「DD DOLBY SURROUND」を選ぶ
アンプが2チャンネルステレオタイプのときは→「ステレオ」または「Stereo」を選ぶ
音声をテレビのスピーカーから再生するとき→「ステレオ」または「Stereo」を選ぶ

ヒント

- ドルビーデジタル、PCM、MPEG信号はアナログ信号に変換され、ステレオ音声として出力されます。
- DTS音声はアナログ接続では再生することができません。

音声方式と音声効果について

DTS、ドルビーデジタル、MPEGの、5.1チャンネルデジタルサラウンド方式は、5つのチャンネルと低音域効果のチャンネルが独立して記録されており、それぞれのチャンネルを独立して再生することができます。これにより、劇場やコンサートホールの臨場感を再現することができます。

ドルビーデジタルサラウンド

DD DOLBY DIGITAL マークのあるDVDビデオがこの方式で記録されています。

DTSサラウンド

dts マークのあるDVDビデオや音楽CDがこの方式で記録されています。

MPEG

MPEG Multichannel マークのあるDVDビデオがこの方式で記録されています。MPEGは8チャンネルある場合があり、上記スピーカー構成に左右センタースピーカーがプラスされます。

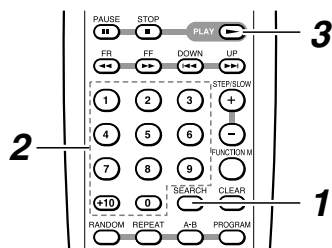
ドルビープロロジックサラウンド

DD DOLBY SURROUND マークのついたLD、DVDビデオがこの音声方式で記録されています。

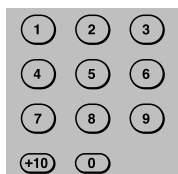
見たい / 聞きたい場所を探す

■ サーチモードを使って見たい/聞きたい場所を探す DVD VCD CD MP3

DVDのタイトル/チャプター、ビデオCD/CDのトラック、MP3のフォルダー/トラック、さらに再生を開始する時間を指定(タイムサーチ)して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1

SEARCH(サーチ)ボタンを押してサーチの種類を選ぶ

押すたびに以下のように切り換わります。

2

希望のタイトル、チャプター、フォルダー、トラック、または再生を開始したい時間を数字ボタンで選ぶ

(タイトル/フォルダー、またはチャプター/トラック番号で探す)

例
- 3を選ぶには、3を押します。
- 10を選ぶには、1と0を押します。
- 37を選ぶには、3と7を押します。

(時間で探す(タイムサーチ))

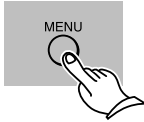
例
- 21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。
- 1時間14分(=74分00秒)を選ぶには、7、4、0、0と押します。

3

PLAY(プレイ)▶ボタンを押す

- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください(☞32ページ)。
- ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は⊘マークが画面に表示されます。
- DVDまたはビデオCDでは指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- DVDでは、停止中にタイムサーチはできません。
- ビデオCDのPBC再生中、タイムサーチはできません。PBC再生を解除してください(☞32ページ)。
- CD、およびMP3ではタイムサーチはできません。

見たい / 聞きたい場所を探す

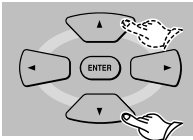
MP3ナビゲーターを使って聞きたいトラックを探す

1 MENUボタンを押す

MP3ナビゲーター画面が表示されます。

『例』

現在再生中のフォルダー番号ートラック番号

選択しているフォルダー内の総トラック数

総フォルダー数

2 ▲/▼ボタンで聞きたいフォルダーを選ぶ

▲/▼ボタンを押し続けると､前/次のフォルダーの選択画面に切り換わります。

さらにトラック(曲)を選んで再生するには

① **▶ボタンを押す**
選択項目がトラックの欄に移動します。

② **▲/▼ボタンで聞きたいトラックを選ぶ**
▲/▼ボタンを押し続けると、前/次のトラックの選択画面に切り換わります。

③ **選んだトラックをプログラムして再生したいときはPROGRAMボタンを押す**
押した回数だけプログラムします。
「プログラムマーク( )」が表示されます。プログラム再生するには「MP3をプログラム再生する」をご覧ください(☞41ページ)。
プログラムからトラックを削除するにはCLEARボタンを押します。

3 ENTERボタンを押す

選んだフォルダー/トラックを再生します。
本機に対応していないフォルダー/トラックを選んだときは「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」と表示され、自動的にそのフォルダー/トラックを飛ばして再生を始めます。

ダイレクトサーチ

数字ボタンを押すだけで見たい／聞きたい場所を探すことができます。

DVDのタイトル、またはチャプターをダイレクトサーチするには

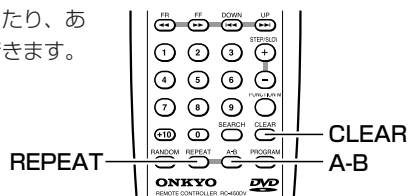
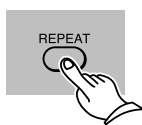
以下のいずれかの操作をします。
- 停止中に希望のタイトルを数字ボタンで選びます。
- 再生中に希望のチャプターを数字ボタンで選びます。

CD／VIDEO CD／MP3のトラックをダイレクトサーチするには

希望のトラックを数字ボタンで選びます。

いろいろな再生－リピート再生

選んだタイトルやチャプター、トラックをくり返し再生したり、ある部分を選び、そこだけくり返し再生したりすることができます。

CLEAR
REPEAT　A-B

■ 選んだタイトル、チャプター、トラックをリピート再生する DVD VCD CD MP3

再生中のチャプター/トラックをくり返すには

REPEAT(リピート)ボタンを1回押します。

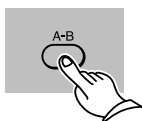
再生中のタイトル/フォルダーをくり返すには

REPEATボタンを2回押します。

再生中のディスクをくり返すには

VCD、CDの場合　REPEATボタンを2回押します。
MP3の場合　REPEATボタンを3回押します。

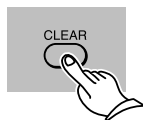
■ 選んだ部分だけをくり返して再生する－A-Bリピート再生 DVD VCD CD

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

指定した範囲をくり返し再生するには

1. 再生中にくり返したい場所の始めでA-B(エービー)ボタンを押します。
2. くり返したい範囲の終わりでA-Bボタンを押します。

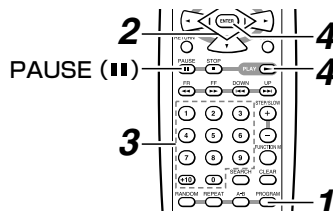
指定した範囲に戻って再生するには

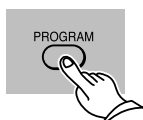
1. 再生中に戻る先として指定したい箇所でA-Bボタンを押します。
2. 戻りたいときにPLAY(プレイ)▶ボタンを押します。

■ 通常の再生に戻す

CLEAR(クリア)ボタンを押す、または
REPEATボタンを押してオフを選ぶ

- DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、マークが表示されます。
- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。PBC再生を解除してからREPEATボタンを押します（☞32ページ）。
- プログラム再生中（☞37ページ）にREPEATボタンを押すと、プログラムをくり返し再生します。
- リピート再生中にアングルを切り換える（☞43ページ）とリピート再生は解除されます。

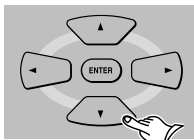
いろいろな再生－プログラム再生

DVDのタイトル／チャプター、ビデオCD／CDのトラック、MP3のフォルダー／トラックを希望の順番に並べ換えて再生します。最大24ステップまでプログラムできます。

■ DVD/CD/VIDEO CDのタイトル/チャプター、またはトラックをプログラムする DVD VCD CD

1

PROGRAM

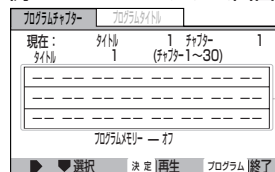
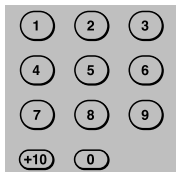
PROGRAM（プログラム）ボタンを押す

プログラム画面が表示されます。
DVDのときは◀/▶ボタンで『プログラムチャプター』、または『プログラムタイトル』を選びます。ビデオCD、またはCDのときは手順***3***に進みます。

2

▼ボタンを押して、プログラム入力画面に移項する

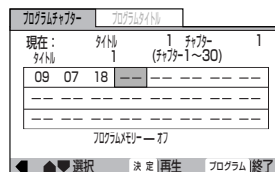
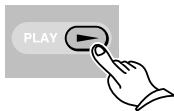
『プログラムチャプター』の画面でタイトル番号を変えたいときは、以下の手順で操作します。

1 プログラム入力画面の最上段で▲ボタンを押します。
2 数字ボタンを押してタイトルを指定します。

例　DVDのプログラム画面

3

再生したい順にタイトル/チャプター、またはトラックを数字ボタンで指定する

例 9、7、18の順にプログラムするには、9、7、+10、8と押します。
30の場合は、+10、+10、+10、0と押します。

4

PLAY

PLAY（プレイ）▶ボタンを押して、プログラム再生を始める

プログラム再生しないで画面を終了するにはPROGRAMボタンを押します。

ヒント

●
● ビデオCDのPBC再生中にプログラム再生することはできません。PBC再生を解除してください（☞32ページ）。
● チャプターをプログラムするときは、同じタイトル内のチャプターのみプログラムすることができます。
● チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。これは故障ではありません。

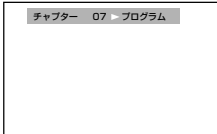
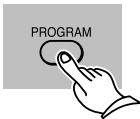
いろいろな再生－プログラム再生

再生中のチャプター/トラックを確認しながらプログラムする

1

プログラムしたいチャプター、またはトラックを再生中にPROGRAMボタンを1秒以上押す

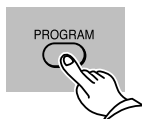
左の画面が表示されるまで押し続けてください。
プログラムに追加したいときはこの操作をくり返します。

チャプター　07 ▶ プログラム

2

PROGRAMボタンを押す

プログラム画面の内容を確認します。再生を始めるにはPLAY▶ボタンを押します。
プログラム再生しないで画面を終了するにはPROGRAMボタンを押します。

- すでに『プログラムタイトル』が入力されているときは、チャプターではなくタイトルがプログラムされます。
- チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときはが表示され、プログラムを入力することができません。
- すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに追加されます。
- すべてのプログラム（24ステップ）が入力されているときはが表示され、プログラムを追加することはできません。

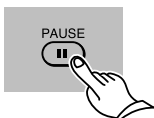
いろいろな再生－プログラム再生

プログラムの内容を確認する

PROGRAM（プログラム）ボタンを押す

DVDでは、◀/▶ボタンで『プログラムチャプター』、または『プログラムタイトル』を選びます。

プログラムを挿入する

プログラム入力画面で挿入したい場所を▲/▼/◀/▶ボタンで指定した後、　数字ボタンでプログラムしたいタイトル、チャプター/トラックを選ぶ

一時停止をプログラムする

プログラム入力画面でPAUSE（ポーズ）❚❚ボタンを押す

「❚❚」が表示されます。一時停止をプログラムすると、次にプログラムしたタイトル、チャプター／トラックの始めで一時停止します。

- プログラムの最初と最後に一時停止をプログラムすることはできません。
- 一時停止を連続して2回以上プログラムすることはできません。

通常の再生に戻す

プログラム再生中にCLEAR（クリア）ボタンを押します。

プログラムを消去する

プログラムの内容を1つずつ消去するには

プログラム入力画面で消去したい番号を▲/▼/◀/▶ボタンで選び、CLEARボタンを押します。指定された番号が消去され、後ろの番号が1つ前に移動します。

プログラムした内容をすべて消去するには

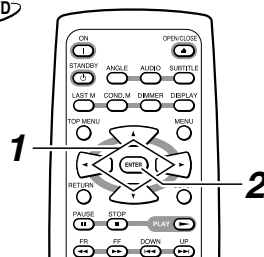
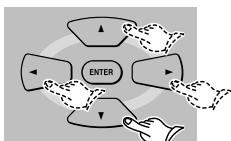
以下のいずれかの操作をします。

- **ディスクを取り出す**
- **リジューム機能を解除した停止中にCLEARボタンを押す**

いろいろな再生－プログラム再生

■ DVDのプログラムを記憶する（プログラムメモリー） DVD

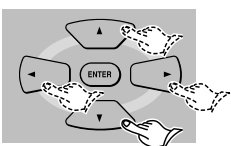
ディスクを取り出しても、最大24枚までDVDビデオのプログラムを記憶することができます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが24枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

1

プログラム画面で『プログラムメモリー』の『オン』を▲/▼/◀/▶ボタンで選ぶ

2

ENTERボタンを押す

記憶したプログラムを消去するには

1

プログラム画面で『プログラムメモリー』の『オフ』を▲/▼/◀/▶ボタンで選ぶ

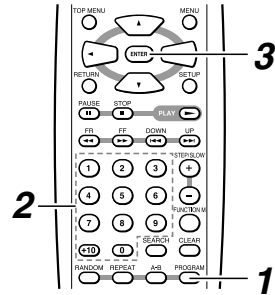
2

ENTERボタンを押す

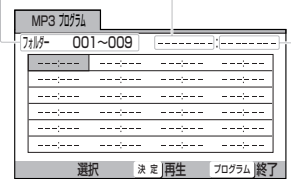
プログラム入力画面に数字は残ったままです。

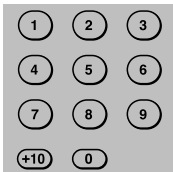
■ MP3をプログラム再生する MP3

- MP3ナビゲーターでもトラックをプログラムすることができます（☞35ページ）。
- フォルダー名、またはトラック名が半角英数字以外でつけられているときは、「F_001」、「T_001」のように番号で表示されます。半角英数字以外を表示することはできません。

1

PROGRAM

PROGRAM（プログラム）ボタンを押す

プログラム画面が表示されます。
すでにMP3ナビゲーターでトラックをプログラムしているときはフォルダー、およびトラック番号がプログラム画面に表示されます。

2

プログラム再生したい順にフォルダー/トラック番号を数字ボタンで指定する

フォルダー5、トラック8をプログラムするには

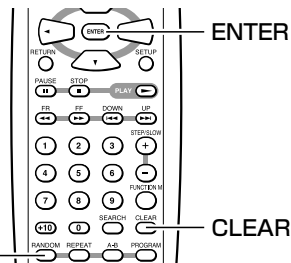
以下の手順で操作します。
1 **数字ボタンの5を押す**
フォルダー5がプログラムされます。
2 **数字ボタンの8を押す**
トラック8がプログラムされます。
さらにプログラムするには手順***2***の操作をくり返します。

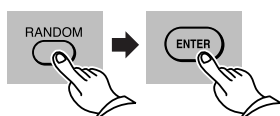
3

ENTER（エンター）ボタンを押す

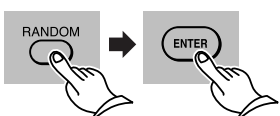
プログラムした順に再生を始めます。
プログラム再生をしないでプログラム画面を終了するときはPROGRAMボタンを押します。

いろいろな再生－ランダム再生

タイトルや、チャプター、トラック、また、特定のタイトル内のチャプターをランダムに再生することができます。

■ DVDをランダムに再生する DVD

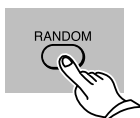
再生中のタイトル内のチャプター(場面)をランダムに再生するには

RANDOMボタンを押した後、ENTERボタンを押す

すべてのチャプターの再生が終了すると自動的に停止します。

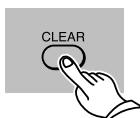
再生中のタイトルをランダムに再生するには

2回押す

RANDOMボタンを2回押した後、ENTERボタンを押す

すべてのタイトルの再生が終了すると自動的に停止します。

■CD/VIDEO CD/MP3をランダムに再生する VCD CD MP3

再生中にRANDOMボタンを押す

すべてのトラックの再生が終了すると自動的に停止します。

通常の再生に戻す

CLEARボタンを押す

DVDでは現在再生されているタイトルまたはチャプターから通常の再生に戻ります。CD/VIDEO CD/MP3では現在再生されているトラックから通常の再生に戻ります。

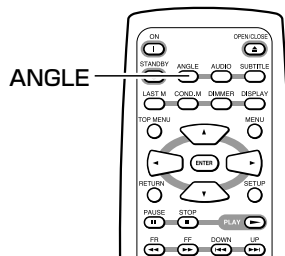
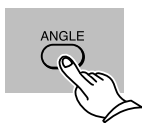
ヒント

- ディスクによってはランダム再生できないものがあります。
- DVDのランダム再生中に▶▶▎ボタン(CD/VIDEO CD/MP3では▶▶▎ボタンまたはRANDOMボタン)を押すと、順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ランダム再生中に▎◀◀ボタンを押すと、現在再生中のタイトル、トラックまたはチャプターを始めから再生し直します。
- ビデオCDのPBC再生中はランダム再生できません。PBC再生を解除してください。
- チャプターまたはトラックをプログラム再生中(☞37ページ)にランダム再生することはできません。
- ランダム再生をくり返すことはできません。

カメラアングルを切り換える

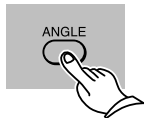
■ カメラアングルを切り換えるには DVD

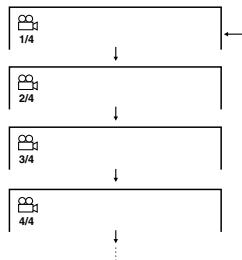
複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットにはマークが付いています。

1

ANGLE

マークが表示されたら、ANGLE（アングル）ボタンを押す

複数のアングルが収録されている場所にくると、マークがテレビ画面に表示されます。

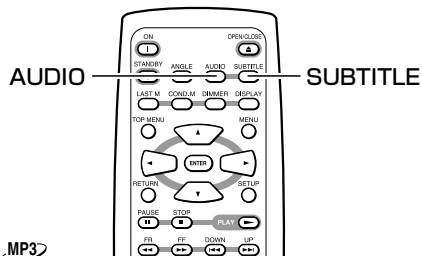
2

さらにANGLEボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ

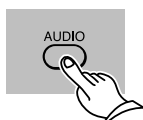
押すたびに、アングルが切り換わります。

テレビ画面上のマークを消すには

マークを表示させたくないときは、初期設定画面の『アングルインジケーター』を『オフ』にします（☞61ページ）。

ヒント

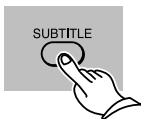
- ディスクによってはマークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部のDVDでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。

再生中に音声 / 字幕を切り換える

■ 再生中に音声を切り換える DVD VCD CD MP3

複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する音声言語を変更することができます。ビデオCD、CD、またはMP3ではステレオ、1/L(左)、2/R(右)を切り換えることができます。

再生中にAUDIO(オーディオ)ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

■ 再生中に字幕を切り換える DVD

複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。

再生中にSUBTITLE(サブタイトル)ボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。押すたびに字幕表示が切り換わります。

字幕を消すには

以下のいずれかの操作をします。

- **SUBTITLEボタンを押した後にCLEAR(クリア)ボタンを押す**
- **SUBTITLEボタンを押してオフを選ぶ**

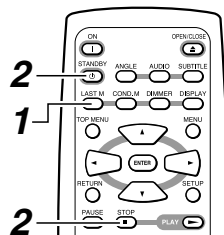
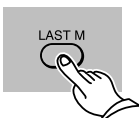
- ここで切り換えた音声/字幕の設定は、以下のようなとき初期設定画面(☞50ページ)の設定に戻ります。
- リジューム機能(☞29ページ)を解除したとき
- ディスクを取り出したとき
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットになど書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。
- 設定内容はテレビ画面でのみ確認できます。CD、MP3の音声を切り換える場合は、テレビ画面で確認してください。
- DVDの中には、再生中にリモコンのAUDIO(オーディオ)ボタンまたはSUBTITLE(サブタイトル)ボタンで音声/字幕を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください(☞32ページ)。

ご注意 DTSCDは音声信号を切り換えないでください。

前に見たディスクのつづきを再生するーラストメモリー

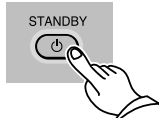
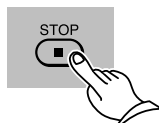
つづきから見る場所、およびそのときの設定内容をDVDは5枚まで記憶させておくことができます。リジューム機能（☞29ページ）と違い、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。ビデオCDは1枚記憶させておくことができます。ビデオCDではディスクを取り出すと記憶が消去されます。

■ つづきから見る場所を記憶する DVD VCD

1

再生中にLAST M（ラストメモリー）ボタンを押す

画面に「ラストメモリー」と表示されます。
押すたびに記憶する場所が変わります。

2

または

STANDBY（スタンバイ）ボタンを押して電源を切る、またはSTOP（ストップ）■ボタンを押す

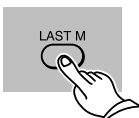
- DVDにはラストメモリーできないものがあります。
- DVDでは、記憶された枚数が5枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ビデオCDのPBC再生中は、ラストメモリー再生ができない場所があります。PBC再生を解除してください（☞32ページ）。

■ つづきから見る DVD VCD

1

つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる

DVDにはディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。
このときは、STOP■ボタンを押してください。

2

LAST Mボタンを押す

記憶している場所から再生を始めます。
ラストメモリーを記憶させたディスクでも、PLAY（プレイ）▶ボタン押すとディスクの始めから再生を始めます。

ラストメモリーを消去するには

1 **つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる**
DVDには、ディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。このときは、STOP■ボタンを押してください。

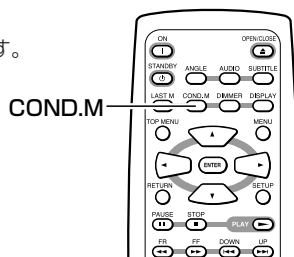
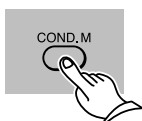
2 **LAST Mボタンを押す**
記憶している場所から再生を始めます。

3 **LAST Mボタンを押す**
画面に「ラストメモリー」と表示されます。

4 **画面に「ラストメモリー」と表示されている間にCLEAR（クリア）ボタンを押す**
表示部のLAST表示が消灯します。

よく見るDVDの設定を記憶させる– コンディションメモリー

■ DVDの設定内容を記憶する DVD

よく見るDVDの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。
電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。

1 ディスクが入っている状態でCOND.M（コンディションメモリー）ボタンを押す

画面に「コンディションメモリー」と表示されます。記憶できる設定は以下の6つです。

●音声言語（☞62ページ）
●画質調整（☞58～60ページ）
●字幕言語（☞62ページ）
●画面表示の位置（☞61ページ）
●カメラアングル（☞43ページ）
●視聴制限（☞66ページ）

記憶してあるディスクを入れると画面に「コンディションメモリー」と表示され、自動的に記憶された設定になります。ディスクを読み込むと「COND_MEM」と表示します。

コンディションメモリーを消去するには

1 COND. Mボタンを押す
画面に「コンディションメモリー」と表示されます。
2 画面に「コンディションメモリー」と表示されている間にCLEAR（クリア）ボタンを押す

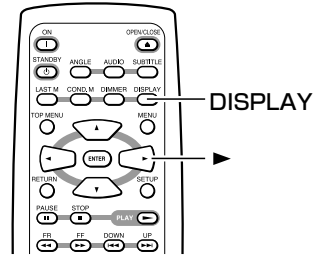
- DVDにはコンディションメモリーできないものがあります。
- 一度記憶された設定は、何度再生しても保持されます。
- 記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切り換わるものがあります。
- コンディションメモリーの中の項目の設定を変更したいときは、再生中にCOND.Mボタンを押して変更してください。

ディスクの情報を見る

■ 再生中にディスクの情報を見る DVD VCD CD MP3

DVDのタイトル／チャプター情報、ビデオCD／CDのトラック情報、またはMP3のフォルダー／トラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。表示される情報の内容はディスクの種類（DVD、ビデオCD、 CD、およびMP3）によって異なります。

DISPLAY

►

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンをくり返し押す

押すたびに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。DISPLAYボタンを押し続けている間、ディスクの残り時間を表示します。

DVDの情報を見る

タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。

現在のタイトル番号ーチャプター番号（TTL） 現在のタイトル経過時間

タイトルの残り時間 タイトルの総時間

現在のタイトル番号ーチャプター番号 現在のタイトル経過時間

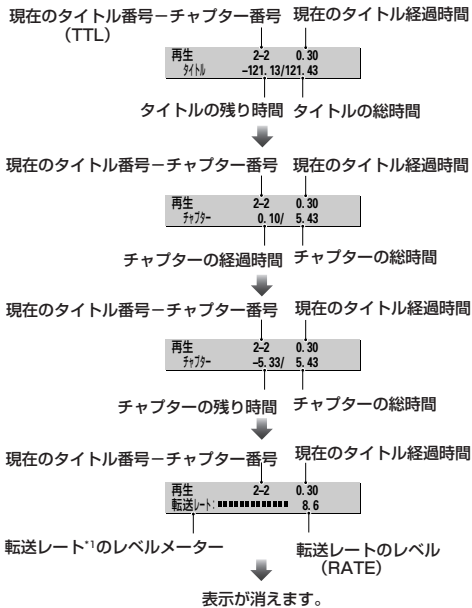
チャプターの経過時間 チャプターの総時間

現在のタイトル番号ーチャプター番号 現在のタイトル経過時間

チャプターの残り時間 チャプターの総時間

現在のタイトル番号ーチャプター番号 現在のタイトル経過時間

転送レート[*1]のレベルメーター 転送レートのレベル（RATE）

表示が消えます。

*1 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

ご注意 ディスクによっては経過時間や残り時間を表示できないものがあります。

MP3の情報を見る

フォルダー内のトラック番号／フォルダー内の総トラック数 現在のトラックの経過時間

トラックの名前

フォルダー番号/総フォルダー数 現在のトラックの経過時間

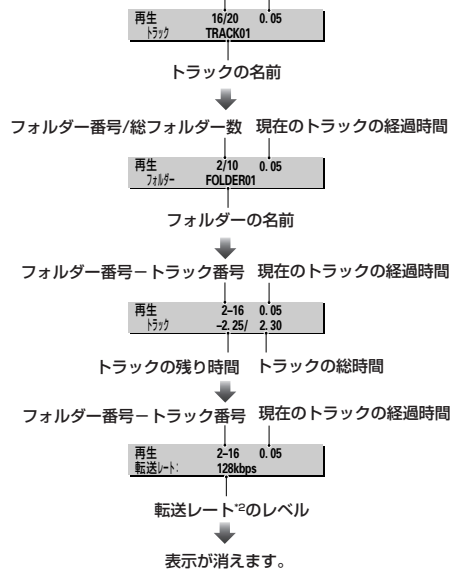
フォルダーの名前

フォルダー番号ートラック番号 現在のトラックの経過時間

トラックの残り時間 トラックの総時間

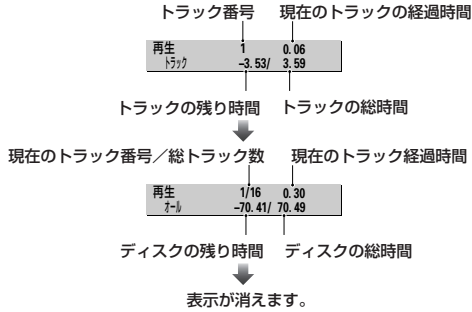
フォルダー番号ートラック番号 現在のトラックの経過時間

転送レート[*2]のレベル

表示が消えます。

*2 転送レートとは、MP3情報量を示す値です。

ディスクの情報を見る

CDの情報を見る

ファイナライズしていないCD-Rを再生中は、表示されないディスク情報があります。

ビデオCDの情報を見る

ビデオCDのPBC再生中は、表示されないディスク情報があります。

現在のトラック番号/総トラック数　現在のトラックの経過時間

再生 3/12 9.01
オール −48.13/ 57.14

ディスクの残り時間　ディスクの総時間

↓

現在のトラック番号　ディスクの総経過時間

再生 3 9.01
チャプター 0.09/ 5.34

トラックの経過時間　トラックの総時間

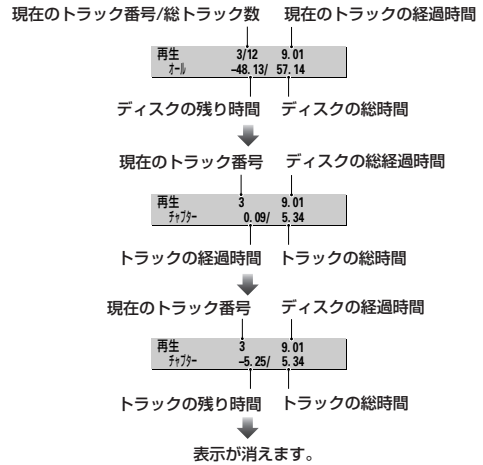
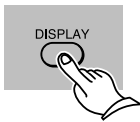
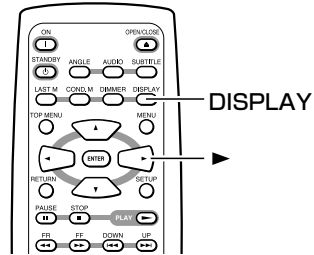
↓

現在のトラック番号　ディスクの経過時間

再生 3 9.01
チャプター −5.25/ 5.34

トラックの残り時間　トラックの総時間

↓

表示が消えます。

■ 停止中にディスクの情報を見る DVD VCD CD MP3

停止中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンをくり返し押す

ディスク情報の画面が表示されます。ディスクの情報が2ページ以上ある時は、▶ボタンを押すと次の画面が表示されます。

DVDの情報を見る

タイトル番号とそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

インフォメーション: DVD

タイトル	チャプター	タイトル	チャプター
01	1〜30	06	1〜10
02	1〜21	07	1〜13
03	1〜46	08	1〜 5
04	1〜12	09	1〜 4
05	1〜 8	10	1〜 3

1/2 ▷ 画面表示 終了

情報が2ページあり、現在の画面がその1ページ目であることを表します。

MP3の情報を見る

フォルダー番号とそれぞれのフォルダー内のトラック数が表示されます。

インフォメーション: MP3

フォルダー	トラック	フォルダー	トラック
01	1〜30	06	1〜10
02	1〜21	07	1〜13
03	1〜46	08	1〜 5
04	1〜12	09	1〜 4
05	1〜 8	10	1〜 3

1/2 ▷ 画面表示 終了

CD/ビデオCDの情報を見る

トラック番号とそれぞれのトラックの総時間が表示されます。

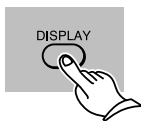
インフォメーション：コンパクトディスク

トータルタイム 70.49

トラック	タイム	トラック	タイム
01	3.59	06	4.20
02	5.04	07	5.05
03	4.53	08	4.02
04	4.11	09	4.07
05	3.56	10	3.45

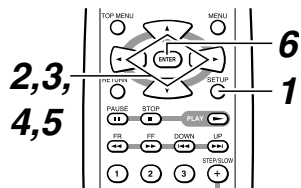
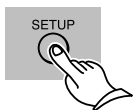
1/2 ▷ 画面表示 終了

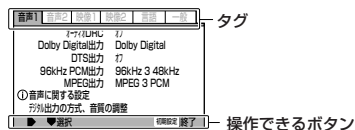
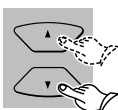
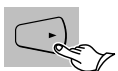
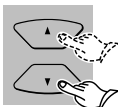
ディスク情報を消すには

DISPLAYボタンをもう一度押します。

各種設定

■ 初期設定画面の操作のしかた DVD VCD CD MP3

セットアップナビゲーター（☞23ページ）よりも多くの設定をすることができます。お買い上げ時の設定を変更したいとき、またはお好みの設定にしたいときに行います。ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置について説明します。セットアップナビゲーターを使った設定を行っていないときはセットアップナビゲーターの画面が表示されます。

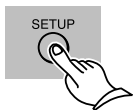
1 SETUP（セットアップ）ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

例　ENTER（エンター）ボタンは決定、SETUPボタンは初期設定と表示されます。

2 ◀/▶ボタンでタグ（『音声1』、『音声2』、『映像1』、『映像2』、『言語』、『一般』）を選ぶ

3 ▲/▼ボタンで設定したい項目を選ぶ

4 ▶ボタンで選択肢の欄にカーソルを移動させる

5 ▲/▼ボタンで設定したい選択肢にカーソルを合わせる

6 ENTER（エンター）ボタンを押す

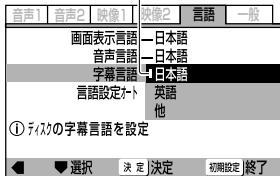
他の項目の設定を変更するときは、手順***2***〜***6*** をくり返します。

7 SETUPボタンを押す

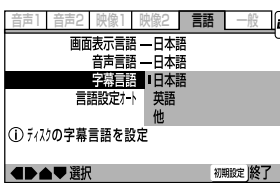
ヒント

- SETUP（初期設定）の途中で電源を切ると設定途中のものは記憶されません。SETUPボタンを押して初期設定を終了してから電源を切ってください。
- 初期設定を操作すると、リジューム機能（☞29ページ）が解除される場合があります。
- 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。

DV-S155(50-72)(SN 29343311A)　50　02.6.13, 11:27 AM

ディスクの種類によって変更することができる／できない設定

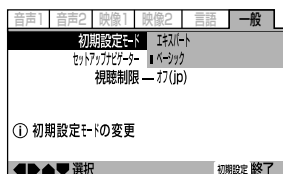
ディスクの種類（DVD/ビデオCD/CD/MP3）によって、変更できる設定が異なります。本機では選択項目の左にあるインジケーターの色で確認することができます。以下の表をご覧ください。

インジケーターの色	ディスクの種類
青色	DVDのみ
緑色	ディスクの種類にかかわりません
黄色	DVD/ビデオCDのみ

DVDにのみ設定できる項目

DVD以外のディスク（ビデオCD/CD/MP3）が入っているとき、DVDにのみ設定できる項目を選ぶと、画面の右上に青いDVDマークが表示されます。

再生中に変更できない項目

再生中に設定を変更できない項目は、灰色で表示されます。

■ より細やかな設定をする

初期設定画面には『ベーシック』と『エキスパート』の2種類があります。『初期設定モード』を『エキスパート』に設定すると、より細やかな設定をすることができます。この取扱説明書では、エキスパートで設定する項目にエキスパートがついています。初期設定画面の操作のしかたについては50ページをご覧ください。

エキスパート：
より細やかな設定を表示します。

ベーシック：
基本的な設定を表示します。選択している項目の簡単な説明（ⓘ）が表示されます（お買い上げ時の設定)。

■ ドルビーデジタル音声を調節する

音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。オーディオDRC（ダイナミックレンジコンプレッション）を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

オフ：
オーディオDRCを解除します。高音質のスピーカーで臨場感が得られます（お買い上げ時の設定)。

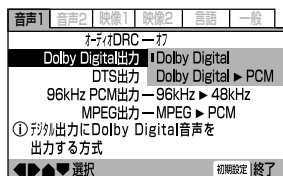
オン：
爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。

- オーディオDRCはドルビーデジタル音声にのみ働きます。
- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- オーディオDRCの効果は、お使いのスピーカーまたはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定をお選びください。

■ デジタル出力の設定をする

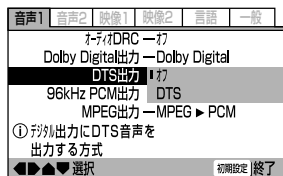
本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。適切な設定をしないと、ノイズが発生することがありますので注意してください。お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。初期設定画面の操作のしかたについては50ページをご覧ください。

ドルビーデジタル出力

接続したアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を『Dolby Digital▶PCM』にします。

Dolby Digital：
ドルビーデジタルに対応しているアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

Dolby Digital▶PCM：
Dolby Digital信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選びます。

DTS出力

接続したアンプがDTS対応のときは、設定を『DTS』にします。

オフ：
DTSに対応していないアンプと接続したときに選びます。

DTS：
DTS対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選びます。

96kHz PCM出力

接続したアンプが96kHz対応のときは、設定を『96kHz』にします。

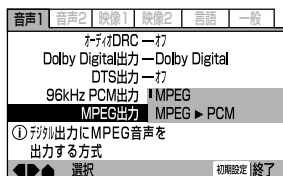
96kHz▶48kHz：
96kHzの信号を48kHzに変換して出力します。96kHzに対応していないアンプと接続したときに選びます。

96kHz：
96kHzに対応しているアンプと接続したときに選びます。

ご注意
DVDでコピープロテクトのかかっているものでは、96kHz信号がアナログ出力端子からのみ出力される場合があります。

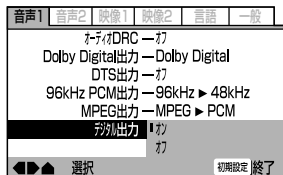
■ デジタル出力の設定をする

MPEG出力

接続したアンプがMPEG対応のときは、設定を『MPEG』にします。

MPEG：
MPEGに対応しているアンプと接続したときに選びます。

MPEG▶PCM：
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選びます。

デジタル出力をオン/オフする エキスパート

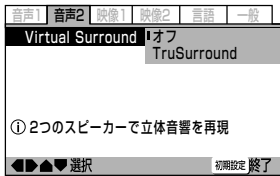
デジタル音声出力端子から音声信号を出力しないように設定することができます。

オン：
後面のデジタル出力端子から音声を出力します。

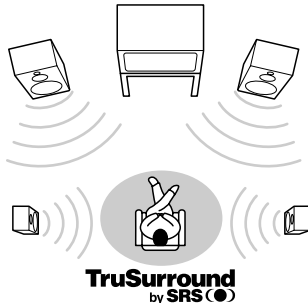
オフ：
後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

エキスパート はより細やかな設定です。項目が表示されていない場合は、52ページを参照して表示させてください。

■『音声2』の設定をする

サラウンド(立体音場)にする

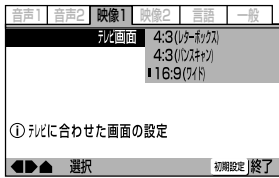
DTS音声、または96kHzPCM音声を再生しているときは働きません。初期設定画面の操作のしかたについては50ページをご覧ください。

TruSurround(スルーサラウンド)について

本機はSRS社のTruSurround技術により、サラウンドエンコードされたステレオ音声やマルチチャンネル音声を処理して、2つの前面スピーカーのみで、より臨場感のある立体音場が再現できるバーチャルサラウンド(仮想立体音場)を実現しています。

- TruSurroundが働いているとき、初期設定画面の「音声1」のDolby(ドルビー) Digital(デジタル)出力を「Dolby Digital ▶PCM」に設定してあるときは、デジタル出力端子から音声は出力されません。
- ディスクによっては効果の少ないものがあります。

各種設定

■『映像1』の設定をする

初期設定画面の操作のしかたについては50ページをご覧ください。

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビの場合は『16:9(ワイド)』に設定します。DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率(一般にアスペクト比と呼ばれています)が横16:縦9で記録されていますので、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4:縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いのときは、『4:3(レターボックス)』、または『4:3(パンスキャン)』に設定してください。この設定を再生中に変更することはできません。

4:3(レターボックス):

従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン):

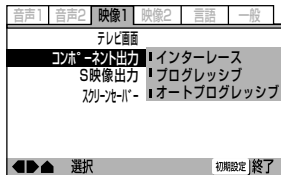
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。

16:9(ワイド):

ワイドテレビと接続したとき選択します。

アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。
詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

コンポーネント出力を設定する

本機のD端子とテレビのD2, D3, D4, D5端子のいずれかに接続している場合、設定することができます。通常のインターレース画像と比較してより高品質な画像が得られます。

インターレース:
テレビのD2, D3, D4, D5端子のいずれにも接続していない場合に選択します。(お買い上げ時の設定)

プログレッシブ:
テレビのD2, D3, D4, D5端子のいずれかと接続している場合に選択します。

オートプログレッシブ:
16:9のDVDビデオを再生しているときはプログレッシブ、4:3を再生しているときはインターレースに自動的に切り換えます。テレビのD2, D3, D4, D5端子のいずれかに接続している場合に限ります。

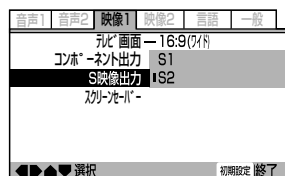
オートプログレッシブを選択した場合、プログレッシブとインターレースが切り換わる時に画面が乱れることがありますが、これは故障ではありません。

テレビが4:3と16:9で自動で切り換わらない場合

プログレッシブに設定している時に4:3で記録されたディスクを再生すると画像が伸びたように見えることがあります。これはテレビの縦横比が16:9に設定されているためです。正しい縦横比で見るにはテレビ側の設定を4:3に変えるか、本機の設定をインターレースまたはオートプログレッシブモードに設定してください。オートプログレッシブではディスクが4:3映像の時はインターレースで、16:9映像の時はプログレッシブモードで出力されます。テレビの最適な縦横比をテレビ側で設定してください。(詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください)

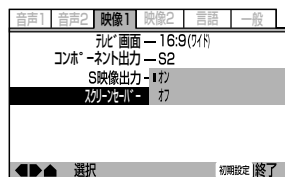
ご注意 テレビのD2、D3、D4、D5端子のいずれにも接続していない場合にプログレツシブを選択すると画像は見られません。Sビデオ接続、ビデオ接続、D1端子との持続をしている場合はインターレースを選択してください。

S映像出力を切り換える エキスパート

S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。本機とテレビをS映像端子でつないでいるとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは『S1』を選択してください。

S2：
S2映像信号が出力されます(お買い上げ時の設定)。

S1：
S1映像信号が出力されます。

スクリーンセーバーを設定する エキスパート

スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。約5分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。

オン：
スクリーンセーバー機能が働きます(お買い上げ時の設定)。

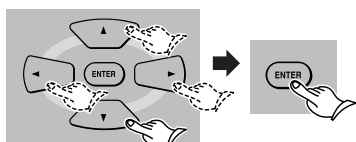
オフ：
スクリーンセーバー機能が働きません。

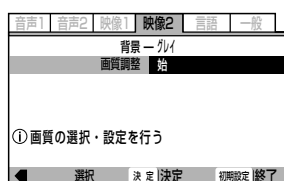
エキスパート はより細やかな設定です。項目が表示されていない場合は、52ページを参照して表示させてください。

■ 画質を調整する

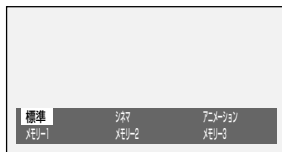
映像（映画、アニメなど）に合わせた画質を選ぶことができます。また画質の設定項目をそれぞれお好みに調整して、さらにその設定を記憶しておくこともできます。再生中にテレビの画面を見ながら画質を調整することができます。初期設定画面の操作のしかたについては50ページをご覧ください。

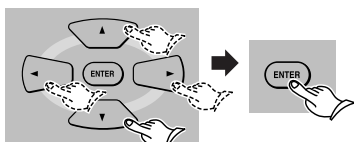
あらかじめ設定されている画質を選ぶ

1

▲/▼/◀/▶ボタンで『映像2』→『画質調整』→『開始』と選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

画質調整画面が表示されます。

2-1

『映像1』でインターレースを選択したときは、「インターレスビデオメモリー選択」を選び、ENTERボタンを押す

2-2

『映像1』でプログレッシブを選択したときは、「プログレッシブビデオメモリー選択」を選び、ENTERボタンを押す

3

▲/▼/◀/▶ボタンで好みの画質を選び、ENTERボタンを押す

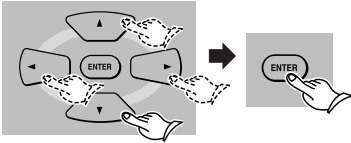
画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定した内容が無効になります。

標準：ディスクに記録されているそのままの画質です。
シネマ：部屋を暗くして、映画館のような雰囲気で観賞するときに適した画質です。
アニメーション：色をくっきりと表現するアニメソフトに適した画質です。
メモリー1／メモリー2／メモリー3：好みで調整した画質設定を記憶させることができます。
次のページの「好みの画質に調整する」をご覧ください。

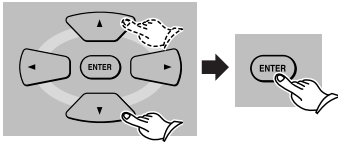
■ 画質を調整する

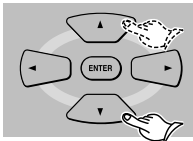
ディスクやテレビ（モニター）によっては、効果がはっきりしないことがあります。

好みの画質に調整する

1

▲/▼/◀/▶ボタンで『映像2』→『画質調整』→『開始』と選びENTER（エンター）ボタンを押す

画質調整画面が表示されます。

2

▲/▼ボタンで『ビデオ設定』を選び、ENTERボタンを押す

3

▲/▼ボタンで調整する項目を選ぶ

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、調整項目の一覧を画面に表示します。もう一度押すと上の画面に戻ります。

インターレースビデオ設定時

プログレッシブ/オートプログレッシブビデオ設定時

ファインフォーカス：
『オン』に設定するとくっきりした高解像度の映像になります。

コントラスト：
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。

シャープネス：
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。『ファインフォーカス』を『オフ』に設定しているときには効果がありません。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

色あい：
緑色と赤色のバランスを調整します（コンポーネント映像では効果はありません）。

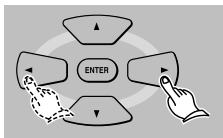
DNR：
ノイズを軽減します。

シャープネス：
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

ディテール：
画像の輪郭を強調します。

クロマディレイ：
輝度(Y)記号と色(C)信号のずれを調整します。

ガンマ：
画像の暗い部分の見えかたを強調します。

4

◀/▶ボタンで各項目のレベルを調整する

『ファインフォーカス』の設定では『オン』、または『オフ』を選びます。

5

手順*3*〜*4*をくり返してすべての項目を調整する

設定した内容を記憶させたいときは▲/▼ボタンで『メモリー』を選び、◀/▶ボタンで『1』、『2』、『3』のいずれかを選んで記憶させてください。すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

6

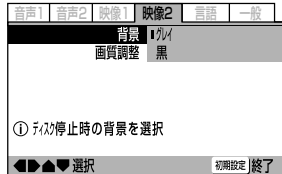
ENTER（エンター）ボタンを押す

画質調整画面が消えます。なお、ENTERボタンを押さないと、調整した内容を『メモリー』に記憶することができません。

■『映像2』の設定をする

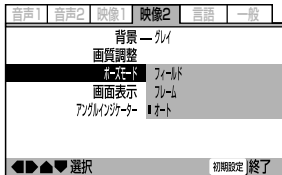
初期設定画面の操作のしかたについては50ページをご覧ください。

背景を選ぶ

ディスクが停止しているときの画面の背景を選びます。

グレイ：
灰色の背景色を表示します（お買い上げ時の設定）。

黒：
黒色の背景色を表示します。

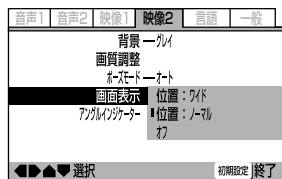
静止画像を切り換える エキスパート

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。ディスクによっては『フィールド』を選択しても画質が鮮明にならないことがあります。

フィールド：
静止画状態のとき、画像のブレをなくします。

フレーム：
通常モードです。

オート：
フィールドとフレームを自動的に切り換えます（お買い上げ時の設定）。

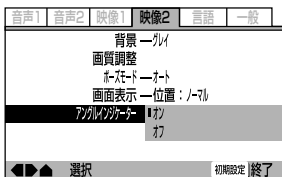
画面表示の位置を選択する エキスパート

本機が表示する初期設定画面などの表示位置をテレビの種類に合わせて設定します。DVDディスクの画面比率が4:3のときに設定します（詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください）。また、「プレイ」、「ストップ」など、本機を操作したときの表示をテレビ画面に表示させたくないとき設定を変更します。

位置：ワイド：
ワイドテレビ側の設定でズームを選んでいるとき、画面表示が欠けるのを避けます。

位置：ノーマル：
ワイドテレビ側の設定でノーマルやフルを選んでいるとき選択します(お買い上げ時の設定)。

オフ：
画面表示をしません。

アングルマークを表示する エキスパート

再生中に画面に表示されるマークを表示させたくないとき設定を変更します。

オン：
画面にマークを表示します（お買い上げ時の設定）。

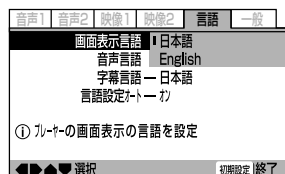
オフ：
画面にマークを表示しません。

エキスパート はより細やかな設定です。項目が表示されていない場合は、52ページを参照して表示させてください。

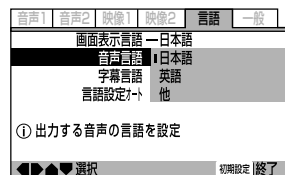
■ 言語の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お客様が目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の『言語』にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。初期設定画面の操作のしかたについては50ページをご覧ください。

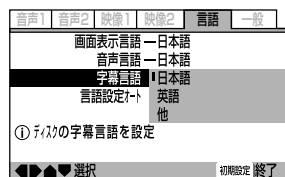
画面表示言語を設定する

初期設定画面などに表示する言語を切り換えます。

日本語：
画面表示の言語が日本語になります。
English：
画面表示の言語が英語になります。

音声言語を設定する

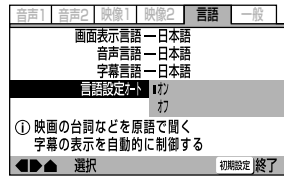
音声言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

日本語：
音声言語が日本語になります。
英語：
音声言語が英語になります。
他：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは64ページの「字幕言語／音声言語/DVD言語の設定で『他』を選んだとき」をご覧ください。

字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

日本語：
日本語の字幕を表示します。
英語：
英語の字幕を表示します。
他：
136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは64ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で『他』を選んだとき」をご覧ください。

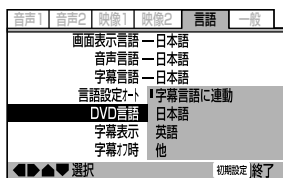
音声、または字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声/字幕にするかを選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

オン：
『音声言語』と『字幕言語』が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります（お買い上げ時の設定）。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります。ただし、ディスクによってはこのように動作しないものもあります。

オフ：
再生中の音声のオート設定が解除され、『音声言語』と『字幕言語』で設定している音声と字幕になります。

DVDのメニュー言語を設定する エキスパート

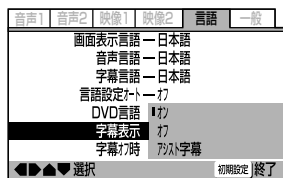
DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。この設定を再生中に設定することはできません。

字幕言語に連動：
『字幕言語』で選択されている言語でメニュー画面が表示されます（お買い上げ時の設定）。

日本語：
日本語でメニュー画面が表示されます。

英語：
英語でメニュー画面が表示されます。

他：
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは次ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で『他』を選んだとき」をご覧ください。

字幕表示をオン/オフする エキスパート

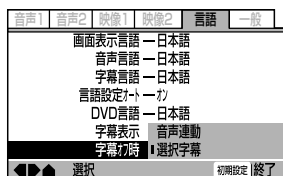
字幕を表示する、字幕を表示しない、またはアシスト字幕を表示するのいずれかを選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

オン：
字幕を表示します（お買い上げ時の設定）。

オフ：
字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります（次ページ）。

アシスト字幕：
『アシスト字幕』は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

エキスパート はより細やかな設定です。項目が表示されていない場合は、52ページを参照して表示させてください。

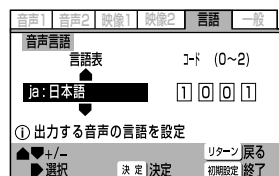
強制的に表示される字幕の言語を設定する エキスパート

DVDの中には、『字幕表示』を『オフ』にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

音声連動：
再生されている音声の言語で字幕を表示します。
選択字幕：
初期設定画面の『字幕言語』で選択されている言語で字幕を表示します。

字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で『他』を選んだとき

65ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1 **『他』を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す**
言語選択画面が表示されます。

例　音声言語の場合

2 **『言語表』、または『コード』を選ぶ**
言語によっては言語コードしか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表（65ページ）をご覧ください。
コードの（　）の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

『コード』で言語を選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。
例　フランス語を選ぶ場合
- **数字ボタンの0、6、1、8を押す**
- **1ケタごとに▲/▼ボタンを押して数字を選択する(◀/▶ボタンを押してケタを移動します)**

『言語表』で言語を選ぶとき

例　フランス語を選ぶ場合
▼ボタンを2回押す

3 **ENTERボタンを押す**

エキスパート はより細やかな設定です。項目が表示されていない場合は、52ページを参照して表示させてください。

言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

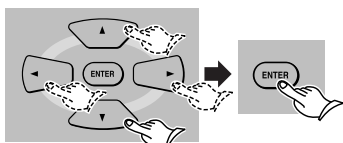
言語名(言語コード)	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

言語名(言語コード)	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

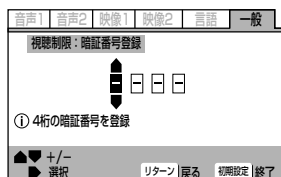
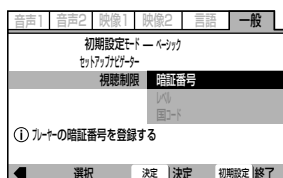
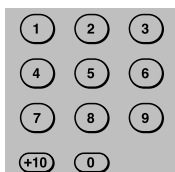
■ 視聴制限をする（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7、レベル8のディスクを再生するためにはあらかじめ登録した暗証番号の入力が必要です。初期設定画面の操作のしかたについては50ページをご覧ください。

暗証番号を登録する

1

▲/▼/◀/▶ボタンで『一般』→『視聴制限』→『暗証番号』を選び、ENTERボタンを押す

最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと『レベル』、および『国コード』を選択することはできません。

『暗証番号登録』の画面が表示されます。

2

暗証番号を4桁で入力する

以下のいずれかの操作をします。

- **数字ボタンを押す**
- **▲/▼ボタンで1ケタごとに数字を選ぶ（◀/▶ボタンでケタを移動します）**

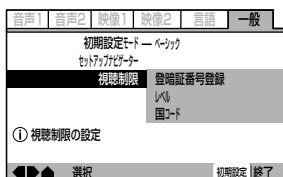
3

ENTERボタンを押す

以下の初期設定画面が表示されます。

暗証番号変更：
暗証番号を変更します。

レベル：
視聴制限のレベルを変更します。

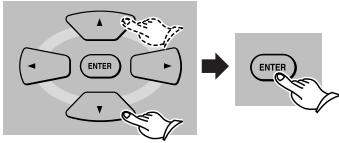
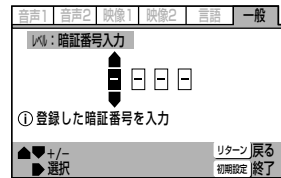
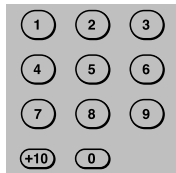
国コード：
国コードを変更します。

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して（☞72ページ）、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生します。

レベルを変更する

1

『レベル』を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

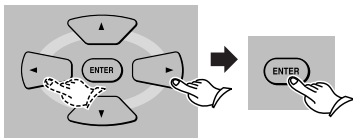
『暗証番号入力』の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。お買い上げ時は『オフ』に設定されています。

4

◀/▶ボタンでレベルを選び、ENTERボタンを押す

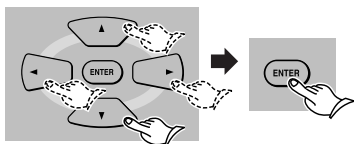
視聴制限のレベルが設定されます。

視聴制限できるDVDを再生するには

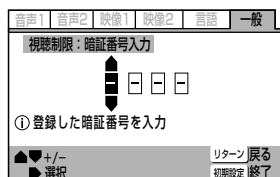
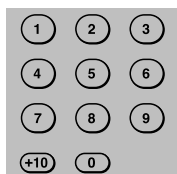
視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

1. 数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する
2. ENTERボタンを押す

暗証番号を変更するには

1

『暗証番号変更』を選び、ENTERボタンを押す

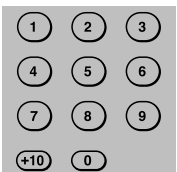
暗証番号入力の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

暗証番号変更の画面が表示されます。

4

新しい暗証番号を4桁で入力する

視聴制限のレベルが設定されます。

5

ENTERボタンを押す

暗証番号が変更されます。

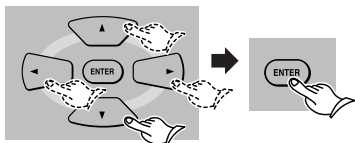
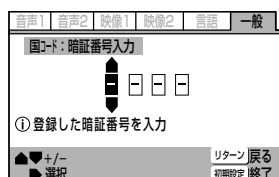
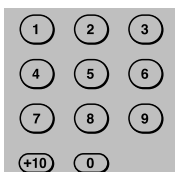
国コードを変更する

次ページの国コード表を見ながら操作します。

1

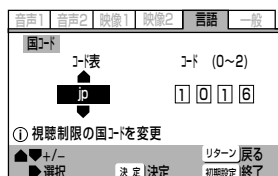
『国コード』を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

『暗証番号入力』の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

国コード設定画面が表示されます。

4

『コード表』、または『コード』を選ぶ

コードの（　）の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

『コード』で国コードを選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。

例　日本を選ぶ場合

- **数字ボタンの1、0、1、6を押す**
- **▲/▼ボタンを押して数字を選択する（◀/▶ボタンを押してケタを移動する）**

『コード表』で国コードを選ぶとき

例　日本を選ぶ場合

▼ボタンで『jp』を選ぶ

5

ENTERボタンを押す

国コード表

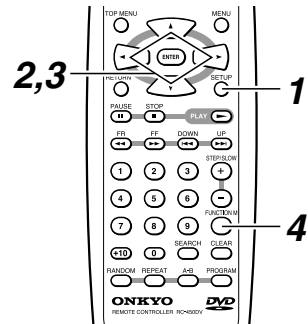
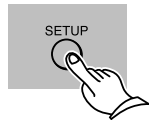
	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn

	入力コード	国コード
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

■ 初期設定項目を登録する

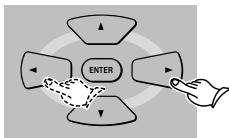
初期設定項目を5つまで登録することができます

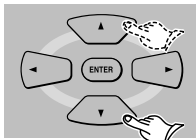
1

SETUP（セットアップ）ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

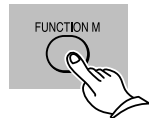
例

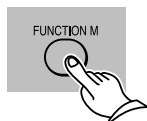
ENTERは決定、SETUPは初期設定と表示されます。

2

◀/▶ボタンでタグ（『音声1』、『音声2』、『映像1』、『映像2』、『言語』、『一般』）を選ぶ

3

▲/▼ボタンで設定したい項目を選ぶ

FMマークが表示され、設定内容が登録されます。

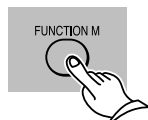
4

FUNCTION M（ファンクションメモリー）ボタンを押す

登録を取り消すには

もう一度FUNCTION Mボタンを押す

FMマークが消え、登録が取り消されます。

初期設定の中には登録できないものもあります。

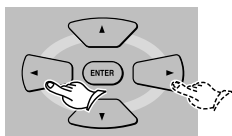
■ 登録した項目を呼び出す

1

初期設定画面が表示されていないときにFUNCTION M(ファンクションメモリー)ボタンを押す

登録した項目だけが表示されます。

2

◀/▶ボタンで項目を選ぶ

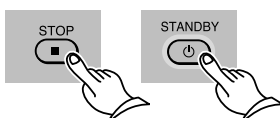
3

ENTER(エンター)ボタンを押す

■ すべての設定をお買い上げ時に戻す

すべての設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1

本機をスタンバイ状態にする

2

STOP(ストップ)■ボタンを押しながら、本体のSTANDBY(スタンバイ)/ON(オン)を押す

すべての設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

ご注意

この操作を行うと、プログラムメモリー(☞40ページ)、ラストメモリー(☞45ページ)、コンディションメモリー(☞46ページ)、および初期設定項目など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

主な仕様

■一般仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	11W
待機電力	1.7W
質量	1.8kg
外形寸法	155（幅）× 94（高さ）× 277（奥行き）mm

■本体部

信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長650nm
音声周波数特性（デジタル音声）	DVDリニア音声：48kHz サンプリング4Hz～22kHz
	96kHz サンプリング4Hz～44kHz
	CDオーディオ　：4Hz～20kHz
信号対雑音比（SN比）（デジタル音声）	100dB以上
ダイナミックレンジ（デジタル音声）	96dB以上
全高調波ひずみ率（デジタル音声）	0.01%以下
ワウ・フラッタ	測定限界［±0.001%（W. PEAK）］以下
使用条件	温度：5℃～35℃、動作姿勢：水平

■端子部

映像出力	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1
S映像出力	(Y)1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン×1
	(C)0.286V(p-p)、75Ω
D2/D1出力	(Y)1.0V(p-p)、75Ω
	(PC/CB)、(PR/CR)0.7V(p-p)、75Ω、D端子×1
音声出力（光デジタル音声）	−22.5dBm×3
音声出力（アナログ音声）	2.0 V(rms)、470Ω、ピンジャック(L、R)×1

※ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。

用語集

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間再生し続けると画面に焼きつき現象が出ることがあります。
これを避けるため、本機ではスクリーンセーバー機能を持っています。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、他のDVDプレーヤーのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一カ所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

ダイナミックレンジ
信号を正しく変換する最大のレベルと雑音等、機器の性質で制限させる最小レベルの差。

パレンタル（視聴制限）
国ごとの規正レベルに合わせて視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDプレーヤーの機能のひとつ。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたもの。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTS（ディーティーエス）フォーマットのデジタルデータ。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスク。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1（エムペグ1）方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC（ピービーシー））”対応のディスクがあります。

ビットレート（Bit Rate）
DVDビデオに圧縮して記憶されている画像の1秒あたりの情報量を示す値。
単位はMbps（Mega（メガ） bit（ビット） per（パー） second（セカンド））で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。
この値が大きいほど画像の情報量は多くなりますが、必ずしも画質とは直接関係しません。

プログレッシブ
映像の1フレーム（コマ）を2つの画像を続けて表示し人間の目の残像効果で1枚の画像に見せているインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方式。インターレースが1秒を30フレームで構成するのに対してプログレッシブは1秒を60フレームで構成するため、大画面でも静止画や文字などが多い場面、激しい動きのある場面でも画面のちらつきが気にならない高品質な画像を再現できる。

マルチアングル
DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていることです。

リジューム機能
DVD再生中にSTOPボタンを押した位置を記憶し、PLAYボタンを押すと停止した部分から再生をはじめる機能。

リニアPCM
DVDの音声デジタル記録の1つで、圧縮をしていない記録方式。CDと同じ記録方式ですが、サンプリング周波数が48kHz、96kHz（CDは44.1kHz）で記録されており、CDの音質を上回ります。

CD-R（Compact（コンパクト） Disc（ディスク）-Recordable（レコーダブル））
一度だけ記録できるCD規格で、記録部の書き換えは不可能。記録されたメディアは、CD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出せます。

CD-RW（Compact（コンパクト） Disc（ディスク）-ReWritable（リライタブル））
書き換え可能なCD規格のこと。記録されたメディアは、基本的にはCD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出すことが可能ですが、反射率が低いため読めないドライブやプレーヤーもあります。

用語集

DVDビデオ
CDと同じ直径で、最大８時間までの動画が記録できるディスク。
片面一層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録します。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。
またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
動画音声圧縮方法の国際標準。ビデオＣＤはMPEG-1で、DVDはMPEG-2で記録されています。

MPEG-1オーディオ
サンプリング周波数32、44.1、48kHzのモノラルもしくは2chの信号を符号化の対象としている。符号化はその複雑度に応じてレイヤー1、2、3から構成されている。レイヤー2はビデオCDで広く採用され、レイヤー3はMP3という通称でインターネットにおける圧縮オーディオ配信や半導体メモリープレーヤーで採用されている。

MPEG-2オーディオ
MPEG-1オーディオを3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオ、マルチ音声言語対応した規格と、16、22.05、24kHzという低いサンプリング周波数に対応するように拡張した2つからなる。符号化はＭＰＥＧ-１と同じ構成ですがMPEG-2オーディオはDVDの圧縮オーディオ方式の1つ。

MP3（MPEG Audio Layer-3）
映像データ圧縮方式として知られているMPEG-1で利用され、現在パソコンの世界では最も普及している音声圧縮方式。CDに近い音質を保ったまま、データ量を1/11程度に圧縮することができます。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。
PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型ソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

困ったときは

電　源

参照ページ

電源が入らない

• 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。	P22
• 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。	

ディスクの再生

ディスクの再生ができない

• ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？ ディスクの再生面を下にしてディスクトレイに置いているか確認してください。	P28
• ディスクは汚れていないか確認してください。	P12
• 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	P9
•「Wrong Region No」と表示される場合は、リージョン番号が本機に合っていませんので再生できません。	P9
• パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除、またはレベル変更を行ってください。	P66
• 結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。	P12

ディスクの再生順序通りに再生できない

• リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。	P36～42

初期設定（設定または各種設定）

設定内容が消える

• 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源プラグは必ず本体のSTANDBY/ON、またはリモコンのSTANDBYを押して、表示部の「一OFF一」表示が消えてから抜いてください。	P50

設定が変更できない

• 画面にDVDマークが出る場合は、CD、ビデオCD，MP3ファイルを記録したディスクが入っているとき、DVDでしか働かない項目を設定しようとしています。	P27
• 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。	

初期設定画面に設定項目が出てこない

• 初期設定モードが「ベーシック」になっていますので、「エキスパート」にしてください。	P52

映　像

再生画像が時々乱れる

• ディスクが汚れていないか確認してください。 • 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。	P12

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

• 本機をビデオデッキ経由でテレビに接続している場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。	P18
• テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して、ベストな状態にしてください。	P27

映像がテレビ画面にあらわれない

• 接続したテレビ、またはアンプの入力設定が正しいか確認してください。	
• 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、スクリーンセーバー機能がはたらきます。 この場合、PLAYボタンを押して解除してください。	P29
• 初期設定の背景色を黒に設定しているときは、停止中映像が出ていないように見えることがあります。 その場合は、背景色を灰色に設定してください。	P61
• テレビのD1端子へ接続している場合は、初期設定でインターレースに設定してください。	P56

画面が縦または横に伸びている

•「テレビ画面」の設定がテレビと合っていない。「セットアップナビゲーター」もしくは「初期設定」で設定してください。	P56
• 本機とテレビをS映像端子で接続している場合は、テレビ側の処理信号により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは「S映像出力」の設定を「S1」に設定してください。	P57

音　声

再生しているディスクの音声が出てこない（アナログ接続、デジタル接続共通）

• 接続コードがしっかり差し込まれているか確認してください。	P18～22

困ったときは

参照ページ

- 接続した機器の入力端子を間違えていないか確認してください。 P18〜22
- 接続した機器の入力設定を間違えていないか確認してください。
- 一時停止、スロー再生、早送り、早戻しでは音が出ませんので、PLAYボタンを押して通常再生に戻してください。
- テレビまたはアンプ等のボリュームが最小になっていないか確認してください。

アナログ接続
- DTS方式で記録されたものを再生しているときは、アナログ出力されません。PCM、またはDolbyDigitalに切り換えてください。 P33

デジタル接続
- 初期設定でデジタル出力がオフになっている。 P54
- 接続している機器が対応していない音声方式を再生している。 P33
- 接続している機器が96kHzPCM出力に対応していない場合は、初期設定で96kHz→48kHzを選択してください。

音声がモノラル出力になっている
- ビデオCD、CD、MP3ファイルを記録したディスクを再生時、AUDIOボタンを押して1/L(左)、2/R(右)に設定した場合はモノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、AUDIOボタンを押して、ステレオに設定してください。（注）映像の画面出力として状態が表示されますので、テレビを接続して確認してください。 P44

MP3の再生

MP3ファイルを記録したディスクを再生できない
- 記録したディスクがISO9960準拠しているか確認してください。 P10
- MP3ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。 P10

ディスクに記録されているトラック(MP3ファイル)を選択できない
- 「.mp3」または「.MP3」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。 P10
- 本機では251以上のフォルダーまたはトラックを認識できません。 P10
- 本機はマルチセッションに対応していません。マルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。

リ モ コ ン

本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。 P14
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？ P14
- 本体受光部に強い光(インバータ蛍光灯や直射日光)が当たっていませんか？ P14
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。 P14

そ の 他

希望する言語で、字幕、音声が出力されない
- 設定した言語がディスクに記録されていない。
- 言語設定オートをONに設定していると、洋画DVDでは音声がオリジナル、字幕は日本語。邦画DVDでは音声が日本語、字幕はオフになります(一部のディスクを除く)。 P63

「ディスクによる禁止」マークが画面に出る
- 選択した動作をディスクが禁止しています。 P10

「プレーヤーによる禁止」マークが画面に出る
- 選択した動作を本機が禁止しています。 P10

システム機能が効かない
- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。） P20

- 本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、こくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また夢電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

- 製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音・録画できることを確認の上、録音・録画を行ってください。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お 客 様 ご相談窓口	**カスタマーセンター** 受付 9:30～17:30 （土日祝、弊社休日除く） **■カタログのご請求、製品についてのご相談** ＊e-mail： ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品 →mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル 0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修 理 窓 口 修理のご依頼は取扱説明書の「困ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612 FAX 011-747-6619
〒001-0028 札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571 FAX 022-257-7330
〒984-0051 仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

栃木地区
宇都宮サービスステーション
TEL 028-634-4307 FAX 028-634-4308
〒320-0831 栃木県宇都宮市新町2-7-7

群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612 FAX 048-651-9137
〒330-0034 埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・茨城地区
千葉サービスステーション
TEL 043-296-3915 FAX 043-296-3912
〒262-0033 千葉市花見川区幕張本郷5-2-11

東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121 FAX 03-3861-8124
〒111-0054 東京都台東区鳥越1-2-3 ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030 FAX 0426-36-9312
〒192-0914 東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342 FAX 045-312-6603
〒220-0072 横浜市西区浅間町1-13 共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229 FAX 052-772-1331
〒465-0013 名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620 FAX 06-6576-7604
〒552-0013 大阪市港区福崎3丁目1番148号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315 FAX 082-262-6571
〒732-0057 広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662 FAX 087-868-5672
〒760-0079 高松市松縄町44-8 西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357 FAX 092-418-1358
〒812-0006 福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502 FAX 0543-46-7091
〒424-0063 静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868 FAX 0776-27-1768
〒910-0001 福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840 FAX 086-274-5840
〒703-8271 岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475 FAX 096-364-1475
〒862-0970 熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195 FAX 098-876-9195
〒901-2104 沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2002年6月現在 お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

G -2

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼される時は、下の事項を販売店または当社サービスステーションまでお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　DV-S155
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： ＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

ご購入店名： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Tel.　（　）

メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.onkyo.co.jp/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

SN 29343311A

G0206-2